

VI. 論文発表

VI. 1 感染症および寄生虫症

VI. 1. 1 イトラコナゾール全身療法により短時間で菌球消失を認めた切除不能気管支アスペルギローマの1例

中央市民 呼吸器内科 大塚今日子
臨床病理科 今井 幸弘

(化学療法の領域, 25, 105-110, 2009. 6)

VI. 1. 2 イトラコナゾール全身療法により短時間で菌球消失を認めた切除不能気管支アスペルギローマの1例

中央市民 呼吸器内科 大塚今日子
臨床病理科 今井 幸弘

(化学療法の領域0913-2384, 25(7), 1537-1542, 2009. 6)

VI. 1. 3 エタネルセプト投与中に発症した巨大空洞形成性肺炎球菌肺炎の1例

中央市民 呼吸器内科 木田陽子

(日本呼吸器学会雑誌, 47, 320-325, 2009. 4)

VI. 1. 4 Fulminant sepsis caused by *Bacillus cereus* in patients with hematologic malignancies: analysis of its prognosis and risk factors

中央市民 臨床病理科 今井 幸弘
免疫血液内科 Daichi Inoue

(Leukemia & Lymphoma, Vol. 51, No. 5, 860-869, 2010. 5)

VI. 1. 5 大規模病院での対応①—国内初発例を経験して

中央市民 感染症科 春田 恒和・林 三千雄
感染管理室 立溝江三子・坂本 悦子
新改 法子

(INFECTION CONTROL, Vol.18, 1141-1145, 2009. 11)

VI. 1. 6 座談会直面しているパンデミック(H1N1) 2009

中央市民 小児科・感染症科 春田 恒和
国立国際医療センター戸山病院 国際医療センター
工藤宏一郎・池松 秀之
立川 夏夫

(Medico, Vol.41, 21-29, 2010. 1)

VI. 1. 7 新型インフルエンザ国内初発例に遭遇して

中央市民 小児科・感染症科 春田 恒和
(小児感染免疫, Vol.21, 274-276, 2009. 10)

VI. 1. 8 Invasive group B streptococcal infections in a tertiary care hospital between 1998 and 2007 in Japan

Nishi-Kobe Medical Center Department of Pediatrics
Matsubara K

Department of Clinical Laboratory Yamamoto G
(Int J Infect Dis, 13(6), 679-684, 2009. 11)

VI. 1. 9 大量喀血により死亡した *Aeromonas hydrophila* 劇症肺炎の一例

中央市民 麻酔科 木山 亮
臨床病理科 今井 幸弘

(日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988), 17, Suppl.)
Page328, 会議録/症例報告, 2010. 1)

VI. 1. 10 市中肺炎

中央市民 救命救急センター・救急部
伊原 崇晃
(救急・集中治療, 21, 652-663, 2009)

VI. 1. 11 軟部組織筋骨格系感染症の原則・診断的アプローチ

中央市民 救命救急センター・救急部
許 智栄
(救急・集中治療, 21, 713-720, 2009)

VI. 1. 12 小児科診療に強くなる - 知ってほしい診断のポイントとコツ 『細菌感染症—重大疾患を見逃さない』

西神戸医療センター 小児科 松原 康策
(内科, 104(2), 367-372, 2009. 8)

VI. 1. 13 新型インフルエンザの西神戸医療センターからの報告

西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
小児科 仁紙 宏之
看護部 熊木まゆ子
呼吸器科 大寺 博

(日本感染症学会 地方からの報告, 電子版, 2009)

VI. 1. 14 院内での新型インフルエンザ対策—
わが病院で行った院内感染防止対
策の方法と課題—

西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
小児科 仁紙 宏之
看護部 熊木まゆ子
呼吸器科 大寺 博

(月刊新医療, 3月号, 128-132, 2010)

VI. 1. 15 非結核性抗酸菌

西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛

(感染症診療ガイドライン総まとめ, 38-41, 2010. 3)

VI. 1. 16 Molecular characteristics of
serotype 3 Streptococcus
pneumoniae isolates among
community-acquired pneumonia
patients in Japan

Kobe City Medical Center General Hospital Respiratory
Medicine

Rie Isozumi,
Michio Hayashi,
Keisuke Tomii

(Journal of Infection and Chemotherapy, 14, 258 -)
261, 2008

VI. 2 新生物

VI. 2. 1 腸重積を契機にして発見された空腸 lipomatosis の一例 (会議録/症例報告)

中央市民 消化器内科 福島 政司
臨床病理科 今井 幸弘

(日本消化器病学会雑誌 (0446-6586), 106巻臨増大会, PageA820, 2009. 9)

VI. 2. 2 転移性胃腫瘍症例の検討

中央市民 消化器内科 岡本 佳子
臨床病理科 今井 幸弘

(Gastroenterological Endoscopy (0387-1207), 51, Suppl.2, Page2226, 2009. 9)

VI. 2. 3 Groove 膵癌 自験6例の臨床病理学的検討

中央市民 消化器内科 堂垣 美樹
臨床病理科 今井 幸弘

(日本消化器病学会雑誌(0446-6586), 106巻臨増大会, PageA926, 2009. 9)

VI. 2. 4 膵管内乳頭粘液性腫瘍の経過観察中に通常型膵管癌の出現をみた1例

中央市民 消化器内科 池田 英司
臨床病理科 今井 幸弘

(肝胆膵画像 (1882-5087), 12, (1), 108-114, 2010. 1)

VI. 2. 5 偶然発見された右房原発心臓血管肉腫に術後放射線化学療法を行った1例

中央市民 呼吸器内科 原田 有香
臨床病理科 今井 幸弘

(肺癌 (0386-9628), 49(2), Page230, 2009. 4)

VI. 2. 6 血性胸水貯留で発症し診断に難渋した肺横紋筋肉腫の1例

中央市民 呼吸器内科 木田 陽子
臨床病理科 今井 幸弘

(日本呼吸器学会雑誌, 47, 404-409, 2009. 5)

VI. 2. 7 血性胸水貯留で発症し診断に難渋した肺横紋筋肉腫の1例

中央市民 呼吸器内科 木田 陽子
臨床病理科 今井 幸弘

(日本呼吸器学会雑誌 (1343-3490), 47(5), 404-409, 2009. 5)

VI. 2. 8 アスベスト曝露歴のある患者に発症した三重癌の1例

中央市民 呼吸器内科 秦明 登
臨床病理科 今井 幸弘

(肺癌, 49, 303-308, 2009. 6)

VI. 2. 9 アスベスト曝露歴のある患者に発症した三重癌の1例

中央市民 呼吸器内科 秦明 登
臨床病理科 今井 幸弘

(肺癌 (0386-9628), 49(3), 303-308, 2009. 6)

VI. 2. 10 帝王切開で出産後に急激な転帰を辿った妊娠合併肺癌の1例

中央市民 呼吸器内科 秦 明登
臨床病理科 今井 幸弘

(日本呼吸器学会雑誌, 47, 585-590, 2009)

VI. 2. 11 帝王切開で出産後に急激な転帰を辿った妊娠合併肺癌の1例

中央市民 呼吸器内科 秦 明登
臨床病理科 今井 幸弘

(日本呼吸器学会雑誌 (1343-3490), 47(7), 585-590, 2009. 7)

VI. 2. 12 Mucoepidermoid Carcinoma の胸腺癌の1例

中央市民 呼吸器内科 櫻井 綾子
臨床病理科 今井 幸弘

(肺癌 (0386-9628), 49(4), Page527, 2009. 8)

VI. 2. 13 胸腔内穿破による胸背部痛で発症した成熟型縦隔奇形腫の1例

中央市民 呼吸器内科 立川 良
臨床病理科 今井 幸弘

(肺癌 (0386-9628), 49(4), Page528, 2009. 8)

VI. 2. 14 Medical Pictures 肺カポジ肉腫の1例

中央市民 呼吸器内科 立川 良

(THE LUNG-perspectives, 16(3), 313-313, 2008. 7)

VI. 2. 15 上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害薬が有効であった肺腺癌による髄膜癌腫症の3症例

中央市民・先端医療センター 呼吸器内科
木田 陽子

(肺癌, 49, 461-466, 2009. 8)

- VI. 2. 16 術後短期間で再発増大を来した肺多形癌大網転移の1例
中央市民 外科 田村 亮
臨床病理科 今井 幸弘
(日本消化器外科学会雑誌 (0386-9768), 43(3), 299 -305, 2010. 3)
- VI. 2. 17 術後短期間で再発増大を来した肺多形癌大網転移の1例
中央市民 外科 田村 亮・小林 裕之
三木 明
臨床病理科 今井 幸弘
(日本消化器外科学会雑誌, 43(3), 299-305, 2010. 3)
- VI. 2. 18 定位放射線治療後の局所再発肺癌に対する肺葉切除
中央市民 呼吸器外科 柵里 真也・喜多村次郎
小松 輝也・高橋 豊
(胸部外科, 62, 812-815, 2009. 8)
- VI. 2. 19 Long-term survival after surgical resection of primary spinal malignant melanoma.
Nishi-Kobe Medical Center neurosurgery
Nishihara Masamitsu
(Neurol Med Chir, 49(1), 546-548, 2009. 11)
- VI. 2. 20 病理組織学的に稀有な小陰唇腫瘍の1例
中央市民 形成外科 澤井 誠司
臨床病理科 今井 幸弘
(日本形成外科学会会誌 (0389-4703), 29(3), Page202, 2009. 3)
- VI. 2. 21 外陰 Paget 病の肉眼所見および受診と診断の遅れについて
中央市民 臨床病理科 今井 幸弘
産婦人科 星野 達二
(兵庫県医師会医学雑誌, 52(2), 25-32, 2010. 3)
- VI. 2. 22 当院の癌終末期患者の管理
中央市民 産婦人科 北 正人・須賀 真美
坂野 彰・岡田 悠子
宮本 和尚・西村 淳一
高岡 亜妃・今村 裕子
山田 曜子・山田 聡
星野 達二
(産婦人科の進歩, 61, 250-251, 2009. 8. 1)
- VI. 2. 23 被膜外進展した甲状腺乳頭癌に対する131I放射性ヨード治療の有効性について
中央市民 耳鼻咽喉科 篠原 尚吾・菊地 正弘
内藤 泰・藤原 敬三
堀 真也・十名 洋介
山崎 博司
(頭頸部癌, 35, 43-47, 2009. 4)
- VI. 2. 24 治療難しい鼻・副鼻腔がん(予防医学協会・神戸新聞社主催の「がんをよく知るための講座」2009.7.9. 神戸市.) についての記事掲載
中央市民 耳鼻咽喉科 篠原 尚吾
(神戸新聞 2009年7月20日発行, 22, 2009. 7)
- VI. 2. 25 術中操作による耳下腺腫瘍術後のフライ症候群予防効果について
中央市民 耳鼻咽喉科 篠原 尚吾・菊地 正弘
内藤 泰・藤原 敬三
十名 洋介・山崎 博司
栗原 理紗・金沢 佑治
(頭頸部癌, 35, 300-304, 2009. 10)
- VI. 2. 26 Successful treatment of locally advanced anaplastic thyroid carcinoma by chemotherapy and hyperfractionated radiotherapy
Kobe City Medical Center General Hospital Department of Otolaryngology
Shinohara S, Kikuchi M,
Naito Y, Fujiwara K,
Hori S, Tona Y,
Yamazaki H
Department of Medicine Kobayashi H, Ishihara T
(Auris Nasus Larynx, 36, 729-732, 2009. 10)
- VI. 2. 27 腎細胞癌の甲状腺転移の一例
中央市民 臨床検査技術部 曾我登志子・荒木 直子
黒田真百美・三羽えり子
簗輪 和士・岩崎 信広
小畑美佐子
耳鼻咽喉科 篠原 尚吾
糖尿内分泌内科 石原 隆
消化器センター内科 猪熊 哲朗
(超音波医学, 36, 365, 2009. 5)

VI. 2. 28 Phase III study, V-15-32, of Gefitinib versus Docetaxel in previously treated Japanese patients with non-small-cell lung cancer

Kobe City Medical Center General Hospital Respiratory Medicine

Riichiroh Maruyama
Keisuke Tomii

(Journal of Clinical Oncology, 26, 4244-4252, 2008)

VI. 2. 29 超選択的動注化学療法単独で原発巣の制御を行った舌根癌症例

西神戸医療センター 耳鼻咽喉科 山本 一宏・金 泰秀
放射線科 桑田陽一郎

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 81, 945-948, 2009)

VI. 2. 30 肺芽腫による幼児突然死の一部検例

神戸大学 浅野 水辺

中央市民 臨床病理科 今井 幸弘

(日本法医学雑誌 (0047-1887), 63(1), Page81, 2009. 4)

VI. 3 血液および造血器の疾患ならびに免疫構造の障害

VI. 3. 1 自家移植併用大量化学療法を施行し、寛解を維持している AIDS 関連リンパ腫

中央市民 免疫血液内科 永井 雄也
臨床病理科 今井 幸弘

(臨床血液 (0485-1439), 50(11), 1641-1646, 2009. 11)

VI. 3. 2 Successful living donor liver transplantation for severe hepatic GVHD histologically resembling autoimmune hepatitis after bone marrow transplantation from the same sibling donor.

中央市民病院 免疫血液 Mori M
臨床病理科 今井 幸弘

(Transpl Int. 2010 May 1; 23(5): e1-4. Epub 2009 Dec 17, 2009. 12)

VI. 3. 3 早期診断により多臓器不全から救命し得た劇症型抗リン脂質抗体症候群の1例

中央市民 免疫血液内科 井上 大地
臨床病理科 今井 幸弘

(日本臨床免疫学会会誌 (0911-4300) 33(1), 24-30, 2010. 2)

VI. 3. 4 Successful treatment of POEMS syndrome complicated by severe congestive heart failure with thalidomide.

中央市民 免疫血液内科 Inoue D
臨床病理科 今井 幸弘

(Intern Med. 2010; 49(5): 461-6, Epub 2010 Mar 1, 461-466, 2010. 3)

VI. 3. 5 携帯用インフュージョンポンプを用いたヘパリンの持続皮下注射が奏功した慢性播種性血管内凝固症候群の2例

中央市民 免疫血液内科 戸上 勝仁・永井 雄也
有馬 浩史・下地 園子
木村 隆治・井上 大地
森 美奈子・藤田 晴之
田端 淑恵・倉田 雅之
柳田 宗之・松下 章子
永井 謙一・加地修一郎
高橋 隆幸

(臨床血液, 50, 1700-1705, 2009)

VI. 3. 6 小児科領域における自己炎症疾患の意味するもの

中央市民 小児科 岡藤 郁夫

(Topics in Atopy, 8(3), 15-21, 2009. 9)

VI. 3. 7 自己炎症疾患

中央市民 小児科 岡藤 郁夫

(日本小児皮膚科学会雑誌, 28(2), 72-78, 2009. 11)

VI. 3. 8 前頭部腫瘍を生じた先端巨大症に合併した多発性骨髄腫の一例

中央市民 脳神経外科 小柳 正臣
臨床病理科 今井 幸弘

(Brain Tumor Pathology (1433-7398) 26, Suppl. Page77, 2009. 5. 1)

VI. 3. 9 著明な浮腫性紅斑を合併し、全身性炎症反応症候群を呈した限局性全身性強皮症の1例

西市民 救急総合診療部 大倉 隆介・小縣 正明
循環器内科 白鳥 健一

新須磨病院 リウマチ科 郡山 健治

(日救急医学会誌, 20(6), 331-337, 2009. 9)

VI. 3. 10 致死的な貧血をきたした diffuse antral vascular ectasia (DAVE) の1例

西市民 救急総合診療部 大倉 隆介

消化器内科 住友 靖彦・山下 幸政

救急総合診療部 小縣 正明

(内科, 103(5), 1000-1003, 2009. 5)

VI. 3. 11 Serum thrombopoietin level and thrombocytopenia during the neonatal period in infants with Down syndrome

Nishi-Kobe Medical Center Department of Pediatrics

Matsubara K, Nigami H,

Yura K, Inoue T,

Isome K, Fukaya T

(J Perinatol, 30(2), 98-102, 2010. 2)

VI. 3. 12 Characterization of chronic idiopathic thrombocytopenic purpura in Japanese children: a retrospective multi-center study

Nara Women's University Faculty of Human Life and Environment

Kubota M

Nishi-Kobe Medical Center Department of Pediatrics

Matsubara K

et al.

(Int J Hematol, 91(2), 252–257, 2010. 3)

VI. 4 内分泌・栄養および代謝疾患

VI. 4. 1 亜急性甲状腺炎・橋本病急性増悪・急性化膿性甲状腺炎

中央市民 糖尿病内分泌内科 石原 隆

(甲状腺疾患診療マニュアル, 69-72, 2009. 4)

VI. 4. 2 下垂体機能低下症

中央市民 糖尿病内分泌内科 石原 隆

(medicina, 医学書院(東京) 932-934, 2009. 6)

VI. 4. 3 異所性 ACTH 産生を伴った褐色細胞腫の1例

中央市民 糖尿病内分泌内科 田原裕美子・藤本 寛太

高原 志保・岩倉 敏夫

松岡 直樹・小林 宏正

日野 恵・石原 隆

泌尿器科 増田 憲彦

(日本内分泌学会雑誌, 85, 191-193, 2009. 8)

VI. 4. 4 肥満関連遺伝子にどのようなものがあるのか?

中央市民 糖尿病内分泌内科 小林 宏正

(Life Style Medicine, 3, 327-333, 2009. 10)

VI. 4. 5 Isolated adrenocorticotrophic hormone deficiency accompanied with delirium.

中央市民 精神神経科 Hissei Imai,

Kunitaka Matsuishi,

Noboru Kitamura,

Yusuke Matui,

Satoshi Tamiya,

Tatsuo Mita

糖尿病内分泌内科 Yumiko Tahara,

Takashi Ishihara

(Psychiatry and Clinical Neurosciences, 63, 426-431, 2009. 6)

VI. 4. 6 Successful treatment of locally advanced anaplastic thyroid carcinoma by chemotherapy and hyperfractionated radiotherapy.

中央市民 耳鼻咽喉科 Shogo Shinohara,

Masahiro Kikuchi,

Yasushi Naito,

Keizo Fujiwara,

Yosuke Tona,

Hiroshi Yamazaki

糖尿病内分泌内科 Hiromasa Kobayashi,

Takashi Ishihara

(Auris Nasus Larynx, 36, 729-732, 2009. 11)

VI. 4. 7 Macroprolactinaemia : prevalence and aetiologies in a large group of hospital workers.

立命館大学 薬学部 Naoki Hattori

中央市民 糖尿病内分泌内科 Yasuhiko Saiki,

Takashi Ishihara

(Clinical Endocrinology, 71, 702-708, 2009. 11)

VI. 5 精神および行動の障害

VI. 5. 1 総合病院におけるうつ病入院治療の実態

中央市民 精神・神経科 今井 必生

(分子精神医学, VOL. 9(3), 295-297, 2009. 7)

VI. 5. 2 2009年新型インフルエンザ流行の医療従事者に与えた精神的影響

中央市民 精神・神経科 今井 必生・伊藤 篤
松石 邦隆・北村 登
三田 達雄

(精神神経学雑誌, VOL. 112(2), 111-115, 2010. 2)

VI. 5. 3 双極Ⅰ型障害の経過中に解離性遁走を呈した1症例

中央市民 精神・神経科 三田 達雄・北村 登
松石 邦隆・松井 裕介
今井 必生・田宮 聡
高橋 年道

(最新精神医学, 14(4), 383-388, 2009. 7)

VI. 5. 4 無床総合病院精神科合併症医療の現状—神戸市立医療センター西市民病院における精神科身体合併症治療病床について—

西市民 精神神経科 見野 耕一・秋元 啓子
奥田真紀子

(日本精神科病院協会雑誌, 29(2), 31-37, 2010. 2)

VI. 5. 5 無床総合病院精神科の危機と課題

西市民 精神神経科 見野 耕一
三井記念病院 精神科 中嶋 義文

(精神医学, 52(3), 211-220, 2010. 3)

VI. 5. 6 小児がん患者を持つ母親、父親の外傷後ストレス症状—出来事インパクト尺度改訂版 (IES-R) による解析—

西神戸医療センター 神経科 高宮 静男・磯部 昌憲
小児科 松原 康策
心理士 川添 文子

(小児がん, 47(1), 60-67, 2010. 2)

VI. 5. 7 糖尿病指導外来における心理社会的アプローチ

西神戸医療センター 神経科 川添 文子・高宮 静男

(臨床精神医学, 38, 1329-1334, 2009. 9)

VI. 5. 8 小児心身医療が社会に必要な連携システム

西神戸医療センター 神経科 高宮 静男・磯部 昌憲
植本 雅治・唐木美喜子
加地 啓子

(心身医学, 49, 1283-1285, 2009. 12)

VI. 5. 9 婦人科がん治療における心理社会的支援—婦人科と精神科の連携—

西神戸医療センター 神経科 磯部 昌憲・高宮 静男
川添 文子・井戸 りか
佐藤 倫明

(臨床精神医学, 38, 1551-1555, 2009. 9)

VI. 6 神経系の疾患

VI. 6. 1 Frequent PAC in Stroke of Undetermined Etiology

中央市民 神経内科 藤堂 謙一
国立循環器病センター 内科脳血管部門
森脇 博・成富 博章
(European Neurology, 61(5), 285-288, 2009. 4)

VI. 6. 2 虚血性脳卒中：診断と治療の進歩 II. 診断 2. 超音波診断

中央市民 神経内科 山上 宏
(日本内科学会雑誌, 98, 20-28, 2009. 6)

VI. 6. 3 抗 GM1 /GalNAc-GD1a 複合体 抗体陽性で、伝導ブロックを呈し た純粋運動型 Guillain-Barré 症候 群の 1 例

防衛医科大学校 内科3 小川 剛・海田 賢一
汐崎 祐・荒木 学
木村 文彦・鎌倉 恵子
(臨床神経学, 49, 488-492, 2009. 8)

VI. 6. 4 Genetic evidence that the differential expression of the ligand-independent isoform of CTLA-4 is the molecular basis of the Idd5.1 type 1 diabetes region in Nonobese diabetic mice

Center for Neurologic Diseases, Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School

Manabu Araki,
Denise Chung, Sue Liu,
Lalitha Vijayakrishnan,
Mohamed Oukka,
Vijay K. Kuchroo,

Department of Pathology, Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School

Arlene H. Sharpe,
Juvenile Diabetes Research Foundation/Wellcome Trust
Diabetes and Inflammation Laboratory

Daniel B. Rainbow,
Giselle Chamberlain,
Valerie Garner,
Kara M. D. Hunter,
Linda S. Wicker,

Department of Pharmacology, Merck Research Laboratories

Laurence B. Peterson,
Department of Pathology, Stanford University School of
Medicine

Raymond Sobel,
(Journal of Immunology, 183(8), 5146-5157, 2009. 10)

VI. 6. 5 頸動脈ステント留置術前後の抗血栓療法

中央市民 神経内科 山上 宏
(日本医師会雑誌, 138, 546, 2009. 6)

VI. 6. 6 日本神経学会創立50周年記念事業 「標準的な神経診察法」DVD

中央市民 神経内科 幸原 伸夫
(清水輝夫、吉井文均 監修, DVDの企画、制作、
出演 (運動系 I : 筋力・筋萎縮、反射の担当),
2009. 5. 20)

VI. 6. 7 肥大型心筋症の診断後に筋症状を呈した顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーの一例

中央市民 小児科 辻 雅弘
臨床病理科 今井 幸弘
(臨床神経学 (0009-918X), 50(3), Page184, 2010. 3)

- VI. 6. 8 合併症とその対策 脳塞栓
中央市民 脳神経外科 足立 秀光
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 105-107, 2009. 3)
- VI. 6. 9 第2章 頸動脈狭窄症治療のための術前評価 C. 頸動脈病変の評価・4 血管撮影
中央市民 脳神経外科 今村 博敏
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 67-71, 2009. 3)
- VI. 6. 10 第2章 頸動脈狭窄症治療のための術前評価 B. 脳神経・脳血流の評価 4. 脳動脈造影
中央市民 脳神経外科 今村 博敏
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 47-52, 2009. 3)
- VI. 6. 11 急性期脳梗塞の実際、頭蓋外血管狭窄に対する PTA/Stenting の解析
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(脳卒中データベース, 122-123, 2009. 3)
- VI. 6. 12 脳梗塞急性期の外科治療ってあるの?
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(別冊 ER マガジン「Brain Attack 時代の脳卒中 ER、t-PA 時代の初期診療における ER 医の役割」, 6, 95-99, 2009. 3)
- VI. 6. 13 私の手術論 負けに不思議の負けなし、勝ちの不思議の勝ち・・・
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
名古屋大学 宮地 茂
(脳神経外科速報, 19, 244-254, 2009. 3)
- VI. 6. 14 頸動脈狭窄症－脳血管障害の中での位置づけ
中央市民 脳神経外科 山上 宏
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 2-5, 2009. 3)
- VI. 6. 15 頸動脈病変の評価 超音波
中央市民 脳神経外科 山上 宏
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 53-59, 2009. 3)
- VI. 6. 16 第2章 頸動脈狭窄症治療のための術前評価 C. 頸動脈病変の評価・2. CT
中央市民 脳神経外科 小柳 正臣
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 60-62, 2009. 3)
- VI. 6. 17 第2章 頸動脈狭窄症治療のための術前評価 B. 脳神経・脳血流の評価 3. 脳血流 (CBF)
中央市民 脳神経外科 上野 泰
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 45-46, 2009. 3)
- VI. 6. 18 第2章 頸動脈狭窄症治療のための術前評価 B. 脳神経・脳血流の評価 2. MRI・MRA
中央市民 脳神経外科 足立 秀光
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 34-38, 2009. 3)
- VI. 6. 19 第2章 頸動脈狭窄症治療のための術前評価 C. 頸動脈病変の評価・3. MRI
中央市民 脳神経外科 足立 秀光
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 63-66, 2009. 3)
- VI. 6. 20 第3章 頸動脈ステント留置術の実際 C. 合併症とその対策 1. 脳塞栓
中央市民 脳神経外科 足立 秀光
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 105-107, 2009. 3)
- VI. 6. 21 CAS と CEA の適応病変の違い
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 74-78, 2009. 3)
- VI. 6. 22 脳卒中治療医の立場から
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 151-153, 2009. 3)
- VI. 6. 23 関連12学会承認 CAS 実施基準
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 9-11, 2009. 3)

VI. 6. 24 頸動脈狭窄症—脳血管障害の中で
の位置づけ

中央市民 脳神経外科 山上 宏

(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江
堂, 2-5, 2009. 3)

VI. 6. 25 頸動脈病変の評価 超音波

中央市民 脳神経外科 山上 宏

(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江
堂, 53-59, 2009. 3)

VI. 6. 26 MRI

中央市民 脳神経外科 足立 秀光

(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江
堂, 63-66, 2009. 3)

VI. 6. 27 MRI・MRA

中央市民 脳神経外科 足立 秀光

(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江
堂, 39-44, 2009. 3)

VI. 6. 28 頸動脈ステント留置術手技と術前・
術後の頸動脈エコー検査

中央市民 脳神経外科 山上 宏

(Vasclar Lab, 6(2), 161-167, 2009. 5)

VI. 6. 29 Nationwide survey of
antihypertensive treatment for
acute intracerebral hemorrhage in
Japan

Cerebrovascular Division, Department of Medicine,
National Cardiovascular Center, Suita, Japan

Koga M, Toyoda K,
Naganuma M,
Minematsu K,

Division of Cardiovascular Medicine, Department
of Medicine, School of Medicine, Jichi Medical
University, Shimotsuke, Tochigi, Japan

Kario K,

Department of Neurosurgery and Stroke Center,
Nakamura Memorial Hospital, Sapporo, Japan

Nakagawara J,

Department of Stroke Neurology, Kohnan Hospital,
Sendai, Japan

Furui E,

Department of Neurosurgery, Kyorin University School
of Medicine, Mitaka, Japan

Shiokawa Y,

Department of Neurology, St Marianna University
School of Medicine, Kawasaki, Japan

Hasegawa Y,

Department of Neurology, National Hospital
Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan

Okuda S,

Department of Neurology, Stroke Center, Kobe City
Medical Center General Hospital, Kobe, Japan

Yamagami H,

Department of Stroke Medicine, Kawasaki Medical
School, Kurashiki, Japan

Kimura K,

Department of Cerebrovascular Disease, National
Hospital Organization Kyushu Medical Center,
Fukuoka, Japan

Okada Y,

(Hypertens Res, 32, 759-764, 2009. 6)

VI. 6. 30 Routine Use of Intravenous Low-Dose Recombinant Tissue Plasminogen Activator in Japanese Patients. General Outcomes and Prognostic Factors From the SAMURAI Register.

Cerebrovascular Division, Department of Medicine,
National Cardiovascular Center, Suita, Japan

Toyoda K, Koga M,
Naganuma M,
Minematsu K,

Department of Neurosurgery, Kyorin University School
of Medicine, Mitaka, Japan

Shiokawa Y,

Department of Neurosurgery and Stroke Center,
Nakamura Memorial Hospital, Sapporo, Japan

Nakagawara J,

Department of Stroke Neurology, Kohnan Hospital,
Sendai, Japan

Furui E,

Department of Stroke Medicine, Kawasaki Medical
School, Kurashiki, Japan

Kimura K,

Department of Neurology, Stroke Center, Kobe City
Medical Center General Hospital, Kobe, Japan

Yamagami H,

Department of Cerebrovascular Disease, National
Hospital Organization Kyushu Medical Center,
Fukuoka, Japan

Okada Y,

Department of Neurology, St Marianna University
School of Medicine, Kawasaki, Japan

Hasegawa Y,

Division of Cardiovascular Medicine, Department
of Medicine, School of Medicine, Jichi Medical
University, Shimotsuke, Tochigi, Japan

Kario K,

Department of Neurology, National Hospital
Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan

Okuda S,

Cryobiofrontier Research Center, Faculty of
Agriculture, Iwate University, Morioka, Iwate

Nishiyama K,

(Stroke, 40(11), 3591-3595, 2009. 10)

VI. 6. 31 第12章 鎖骨下動脈、椎骨動脈ス
テント留置術

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・今村 博敏
(合併症例から学ぶ脳神経血管内治療, メディカ出
版, pp153-pp157, 2009. 5)

VI. 6. 32 第14章 脳動脈瘤 2. 巨大動脈
瘤

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・今村 博敏
(合併症例から学ぶ脳神経血管内治療, メディカ出
版, pp209-pp215, 2009. 5)

VI. 6. 33 7 虚血性脳血管障害 A頸動脈狭
窄症

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・坂井 千秋
(脳神経外科エキスパート「血管内治療」, 中外医学
社, pp146-pp157, 2009. 5)

VI. 6. 34 頸動脈ステント留置術の現状、そ
の留意点と展望

中央市民 脳神経外科 今村 博敏
(Angiology Frontier, 49-55, 2009. 6)

VI. 6. 35 頸動脈ステント留置術の現状、留
意点と展望

中央市民 脳神経外科 今村 博敏・坂井 信幸
(Angiology Frontire, 49-55, 2009. 6)

VI. 6. 36 第3章 頸動脈ステント留置術の実
際 A.CAS と CEA の適応病変の
違い

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江
堂, 74-78, 2009)

VI. 6. 37 第3章 頸動脈ステント留置術の実
際 B.CAS の基本 3. プロテク
ションデバイスの種類と使い方

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江
堂, 86-89, 2009)

VI. 6. 38 第4章 頸動脈ステント治療におけ
るチーム医療 2. 脳卒中治療医
の立場から

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江
堂, 151-153, 2009)

VI. 6. 39 第1章 頸動脈狭窄症とは 2. 関連12学会 CAS 実施基準

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(エキスパートから学ぶ CAS 実践マニュアル, 南江堂, 9-12, 2009)

VI. 6. 40 頸動脈用ステントシステム：頸動脈ステント留置術で変わった日本の頸動脈狭窄症の治療

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(Japan Medical Society, 56-59, 2009. 6)

VI. 6. 41 頸動脈ステント留置術前後の抗血栓療法

中央市民 脳神経外科 山上 宏
(日本医師会雑誌, 138(3), 546-546, 2009. 6)

VI. 6. 42 虚血性脳卒中：診断と治療の進歩 II. 診断 2. 超音波診断

中央市民 脳神経外科 山上 宏
(日本内科学会雑誌, 98(6), 20-28, 2009. 6)

VI. 6. 43 Stroke Acute Management with Urgent Risk-factor Assessment and Improvement (SAMURAI) Study Investigators. Nationwide survey of antihypertensive treatment for acute intracerebral hemorrhage in Japan.

中央市民 脳神経外科 Yamagami H
Koga M, Toyoda K,
Naganuma M, Kario K,
Nakagawara J, Furui E,
Shiokawa Y,
Hasegawa Y,
Okuda S, Kimura K,
Okada Y, Minematsu K
(Hypertens Res, Sep; 32(9), 759-64, 2009. 6)

VI. 6. 44 2 頸動脈

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・中家 純
中村 大
(EVTスタッフマニュアル, 医学書院, pp9-pp16, 2009. 7)

VI. 6. 45 頸動脈狭窄症に対する治療選択、CAS の立場から

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・足立 秀光
上野 泰・國枝 武治
坂井 千秋・山上 宏
今村 博敏・小柳 正臣
藤堂 謙一・山本 司郎
蔵本 要二・菊池 晴彦

(第27回 The Mt. Fuji Workshop on CVD 講演集「脳血管内治療 vs 外科的治療・内科的治療」, 102-104, 2009. 7)

VI. 6. 46 血管内治療のフロントライン治療材料の進歩とその将来

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・坂井 千秋
(分子脳血管病, 8, 259-263, 2009. 7)

VI. 6. 47 医学書院 EVT スタッフマニュアル

脳神経外科部長/先端医療センター脳血管内治療科部長
坂井 信幸
中央市民 放射線技術部 中村 大
放射線技術部主査 中屋 純
(EVT スタッフマニュアル, 9-16, 2009. 7)

VI. 6. 48 ナーシングフロンティア：頸動脈ステント留置術 (CAS)、頸動脈狭窄症の新たな治療の選択肢、頸動脈狭窄症の病態と治療選択

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(看護技術, 55, 65-68, 2009. 8)

VI. 6. 49 無症候性頸動脈狭窄症に血行再建の適応はあるのか？

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・坂井 千秋
(EBM「循環器疾患の治療」, 中外医学社, pp168-pp172, 2009. 9)

VI. 6. 50 脳動脈ステント. 特集：脳血管障害治療の進歩.

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸・坂井 千秋
(Brain and Nerve, 61, 1023-1028, 2009. 9)

VI. 6. 51 IV. リスクファクターから疾患へ—その早期の評価— 3. 頸動脈超音波

中央市民 脳神経外科 山上 宏
(新・心臓病診療プラクティス 14 心血管イベントのリスクファクターとその管理, 文光堂, 149-154, 2009. 9)

- VI. 6. 52 標準手技
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(頸動脈ステント留置術ハンドブック, 診断と治療社, pp78-pp84, 2009. 10)
- VI. 6. 53 TIA 患者における危険因子の早期管理
中央市民 脳神経外科 山上 宏
(分子脳血管病, vol.8(4), 48-57, 2009. 10)
- VI. 6. 54 5. どんな検査をするか
中央市民 脳神経外科 山上 宏
(インフォームドコンセントのための図説シリーズ 脳梗塞の予防と再発防止 改訂版, 30-37, 2009. 10)
- VI. 6. 55 for the Stroke Acute Management with Urgent Risk-factor Assessment and Improvement (SAMURAI) Study Investigators. Routine Use of Intravenous Low-Dose Recombinant Tissue Plasminogen Activator in Japanese Patients. General Outcomes and Prognostic Factors From the SAMURAI Register.
中央市民 脳神経外科 Yamagami H
Toyoda K, Koga M,
Naganuma M,
Shiokawa Y,
Nakagawara J, Furui E,
Kimura K, Okada Y,
Hasegawa Y, Kario K,
Okuda S, Nishiyama K,
Minematsu K
(Stroke, 2009. 11)
- VI. 6. 56 無症候性頸動脈病変はどうするか?
中央市民 脳神経外科 山上 宏
(治療, vol.91(11), 2702-2706, 2009. 11)
- VI. 6. 57 頸動脈ステント留置術と血管内治療
中央市民 脳神経外科 山上 宏
(medicina, vol.49 no.11, 1822-1826, 2009. 11)
- VI. 6. 58 頸動脈ステント留置術と抗血小板療法
中央市民 脳神経外科 山上 宏
(日本血栓止血学会誌, 20(6), 602-607, 2009. 12)
- VI. 6. 59 末梢血管-頸動脈ステント留置術
中央市民 脳神経外科 坂井 信幸
(脈管専門医のための臨床脈管学(日本脈管学会編), 161-162, 2010. 2)
- VI. 6. 60 出血発症の左A1解離性動脈瘤に対し proximal clipping に A3-A3 バイパス術を併用した一例
中央市民 脳神経外科 芝田 純也・上野 泰
足立 秀光・國枝 武治
今村 博敏・小柳 正臣
坂井 信幸・菊池 晴彦
(脳神経外科, 38(3), 259-264, 2010. 3)
- VI. 6. 61 神経学的予後の判定方法に関する検討
中央市民 救命救急センター・救急部
渥美 生弘
(厚労科研事業平成20年度分担報告書, 139-141, 2009)
- VI. 6. 62 ブレイン・アタック くも膜下出血術後の急性期の看護
中央市民 看護師 橋本 加奈
山口佐緒里・奥山 拓矢
堤 恵美・岡崎 美晴
坂井 信幸
(Brain Nursing, 25, 40-46, 2009. 1)
- VI. 6. 63 Clinical Predictors of Transient Ischemic Attack, Stroke, or Death within 30 Days of Carotid Artery Stent Placement with Distal Balloon Protection.
浜松労災病院 脳神経外科 Kawabata Y, Sakai N,
Nagata I, Horikawa F,
Miyake H, Ueno Y,
Kikuchi H
(Journal of vascular and interventional radiology, 20, 9
-16, 2009. 1)

VI. 6. 64 Endovascular trapping for vertebral artery fusiform aneurysm in a patient with idiopathic thrombocytopenic purpura.

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

Ishihara H
Sakai N, Kuroiwa T,
Kunieda T, Osaka N,
Morizane A, Sakai C,
Yano T, Kajikawa R,
Kikuchi H

(Neurol Med Chir, 49, 514-517, 2009. 11)

VI. 6. 65 気管支喘息：管理と治療の進歩
「喘息維持療法のコツ」

西市民 呼吸器内科 石原 享介

(日本内科学会雑誌, 98 (12月号), 3052-3060.)
(2009. 12)

VI. 6. 66 Diffusion-weighted Magnetic Resonance Imaging of a Severe Heat Stroke Patient Complicated with Severe Cerebellar Ataxia

西市民 救急総合診療部 大倉 隆介

神経内科 高井
内科 高井 智子
神経内科 岡本美由紀

(Inter Med, 48(12), 1105-1108, 2009. 12)

VI. 6. 67 1 脳卒中の分類と病態生理、診断および治療の理解

先端医療センター 脳血管内治療科 坂井 千秋

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸

(脳卒中看護実践マニュアル, メディカ出版, pp36-)
(pp52, 2009. 4)

VI. 6. 68 2 重篤化予防のための病態生理の理解と管理

先端医療センター 脳血管内治療科 坂井 千秋

中央市民 脳神経外科 坂井 信幸

(脳卒中看護実践マニュアル, メディカ出版, pp53-)
(pp59, 2009. 4)

VI. 6. 69 脳卒中診療における最近のトピックス

立川病院 院長 篠原 幸人

中央市民 脳神経外科 高木 誠・坂井 信幸

(成人病と生活習慣病, 39, 831-843, 2009. 8)

VI. 7 眼および付属器の疾患

VI. 7. 1 糖尿病網膜症.

中央市民 眼科 広瀬 文隆

(目でみる眼疾患, 126-131, 2009. 4)

VI. 7. 2 Generation of retinal cells from mouse and human induced pluripotent stem cells

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology

Hirami Y, Takahashi M

RIKEN Center for Developmental Biology Laboratory for Retinal Regeneration

Hirami Y, Osakada F,

Takahashi M

Kyoto University Graduate School of Medicine Department of Ophthalmology

Hirami Y, Ikeda H,

Yoshimura N

Institute for Frontier Medical Sciences, Kyoto University Department of Stem Cell Biology

Takahashi K, Okita K,

Yamanaka S

Kyoto University School of Medicine

Center for iPS Cell Research and Application, Institute for Integrated Cell-Material

Sciences

Takahashi K, Okita K,

Yamanaka S

(Neurosci Lett, 458, 126-131, 2009. 5)

VI. 7. 3 Photoreceptor integrity and visual acuity in cystoid macular oedema associated with retinitis pigmentosa

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology

Oishi A

Kyoto University Department of Ophthalmology

Otani A, Sasahara M,

Kojima H, Nakamura H,

Kurimoto M, Yoshimura N

(Eye 2009 Jun, 23, 1411-1416, 2009. 6)

VI. 7. 4 ポリプ状脈絡膜血管症における光線力学療法後に増加した出血に関する検討.

中央市民 眼科 宮本 紀子

県立尼崎病院 眼科 大音壮太郎・箔本 潤子

木村 大作・井上貴美子

椋野 洋和・秋元 正行

高木 均

(臨床眼科, 63, 1303-1306, 2009. 8)

VI. 7. 5 Association of Clinical Characteristics with Disease Subtypes, Initial Visual Acuity, and Visual Prognosis in Neovascular Age-Related Macular Degeneration.

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology

Hirami Y, Mandai M,

Takahashi M

Kyoto University Department of Ophthalmology

Hirami Y, Yoshimura N

Kyoto University Hospital Department of Experimental Therapeutics, Translational Research Center

Mandai M, Takahashi M

Kyoto University Hospital Department of Clinical Trial Design and Management, Translational Research Center

Teramukai S, Tada H

RIKEN Center for Developmental Biology Laboratory for Retinal Regeneration

Hirami Y, Mandai M,

Takahashi M

Translational Research Informatics Center Teramukai S, Tada H

(Jpn J Ophthalmol, 53, 396-407, 2009. 9)

VI. 7. 6 Sub-Tenon's Injection of Triamcinolone for Optic Disc Neovascularization in a Patient with Retinitis Pigmentosa

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology

Kumagai K, Oishi A,

Fujihara M, Takahashi M,

Kurimoto Y

Center for Developmental Biology, RIKEN Laboratory for Retinal Regeneration

Takahashi M

(Jpn J Ophthalmol, 53, 433-444, 2009. 9)

VI. 7. 7 Foster 分類と AIGS 分類のグレーゾーン

中央市民 眼科 栗本 康夫

(臨床眼科 2009増刊号 第63巻第11号緑内障診療グ
レーゾーンを越えて, 66-67, 2009. 11)

VI. 7. 8 水晶体再建派

中央市民 眼科 栗本 康夫

(臨床眼科 2009増刊号 第63巻第11号緑内障診療グ
レーゾーンを越えて, 330-334, 2009. 11)

VI. 7. 9 日本人と閉塞隅角緑内障

中央市民 眼科 栗本 康夫

(医学のあゆみ, 237, 850-851, 2009. 11)

VI. 7. 10 閉塞隅角緑内障の最近の考え方
中央市民 眼科 栗本 康夫
(眼科の診断と治療シリーズ (VIDEO教材), 2009. 11)

VI. 7. 11 頸動脈海綿静脈洞瘻
中央市民 眼科 大石 明生
(眼科, 51, 1799-1802, 2009. 12)

VI. 7. 12 5. シリコンオイルタンポナーデ
中央市民 眼科 栗本 康夫
(眼科プラクティス 30理に適った網膜復位術, 186
-190, 2009. 12)

VI. 7. 13 閉塞隅角緑内障の最近の考え方
中央市民 眼科 栗本 康夫
(眼科の診断と治療シリーズ (VIDEO教材), 2009. 12)

VI. 7. 14 PAC と世界と日本
中央市民 眼科 栗本 康夫
(Frontiers in Glaucoma, Vol.10(3), 154-157, 2009)

VI. 7. 15 走査式周辺前房深度計
中央市民 眼科 栗本 康夫
琉球大学 眼科 新垣 淑邦・酒井 寛
(あたらしい眼科, 27, 61-62, 2010. 1)

VI. 7. 16 iPS 細胞と網膜再生
中央市民・先端医療センター 眼科
平見 恭彦・高橋 政代
(臨床眼科, 64, 7-13, 2010. 1)

VI. 7. 17 Corneal spherical aberration of
eyes with cataract in a Japanese
population
Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology
Shimozono M, Uemura A,
Hirami Y, Ishida K,
Kurimoto Y
先端医療センター 眼科
(Journal of refractive surgery 2010 Feb 15. (Epub ahead
of print), 2010. 2)

VI. 7. 18 Comparative Assessment of Pho-
todynamic Therapy for Typical
Age-Related Macular Degenera-
tion and Polypoidal Choroidal
Vasculopathy : A Multicenter
Study in Hyogo Prefecture, Ja-
pan

Kobe University Graduate School of Medicine
Department of Surgery, Division of Ophthalmology
Honda S, Imai H,
Tamura Y, Yamamoto H,
Negi A
Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology
Yamashiro K, Kurimoto Y
Ono Municipal Hospital Department of Ophthalmology
Kanamori-Matsui N,
Kagotani Y
Nippon Steel Hirohata Hospital Department of Ophthalmology
Tamura Y, Yamamoto H
Hyogo Prefectural Amagasaki Hospital Department of Ophthalmology
Ohoto S, Takagi H
Mitsubishi Kobe Hospital Department of Ophthalmology
Uenishi M
(Ophthalmologica, 223, 333-338, 2009. 5)

VI. 7. 19 Photodynamic therapy for typical
age-related macular degeneration
and polypoidal choroidal
vasculopathy : A 30-month
multicenter study in Hyogo,
Japan

Kobe University Graduate School of Medicine
Department of Surgery, Division of Ophthalmology
Honda S, Kagotani Y,
Yamamoto H, Takagi H,
Uenishi M (for the Hyogo
Macular Disease Study Group)
Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology
Kurimoto Y
(Jpn Jophthalmol, 53, 593-597, 2009. 12)

- VI. 7. 20 Bone marrow-derived cells are differentially involved in pathological and physiological retinal angiogenesis in mice.

Kyoto University Graduate School of Medicine
Department of Ophthalmology and Visual Sciences

Zou H, Otani A, Yodoi Y,
Kameda T, Kojima H,
Yoshimura N

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Ophthalmology
Oishi A

(Biochem Biophys Res Commun. [Epub ahead of print], 2009. 12)

- VI. 7. 21 Intramuscular Transplantation of Granulocyte Colony Stimulating Factor-Mobilized CD34-Positive Cells in Patients with Critical Limb Ischemia : A Phase I/IIa, Multi-Center, Single-Blind and Dose-Escalation Clinical Trial.

Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe
Division of Vascular Regeneration Therapy, Department of Translational Research

Kawamoto A, Katayama M

RIKEN Center for Developmental Biology, Kobe
Laboratory for Stem Cell Translational Research, Institute of Biomedical Research and Innovation

Kawamoto A, Kinoshita M,
Takano H, Horii M,
Sadamoto K, Yokoyama A,
Asahara T

Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe
Department of Clinical Research Promotion

Katayama M, Kuroda A

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Cardiovascular Surgery

Handa N, Okada Y

Department of Cardiology Kinoshita M, Kihara Y,
Morioka S

Translational Research Informatics Center, Kobe

Yamanaka T, Onodera R,
Fukushima M

Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe Clinical Laboratory

Baba R, Kaneko Y

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Plastic Surgery

Tsukie T

Department of Ophthalmology Kurimoto Y

Tokai University School of Medicine, Isehara Department of Regenerative Medicine Science

Asahara T

(Stem Cells. [Epub ahead of print]. 2009. 9)

- VI. 7. 22 Intramuscular Transplantation of Granulocyte Colony Stimulating Factor-Mobilized CD34-Positive Cells in Patients with Critical Limb Ischemia : A Phase I/IIa, Multi-Center, Single-Blind and Dose-Escalation Clinical Trial.

Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe
Division of Vascular Regeneration Therapy, Department of Translational Research

Kawamoto A, Katayama M

RIKEN Center for Developmental Biology, Kobe

Laboratory for Stem Cell Translational Research, Institute of Biomedical Research and Innovation

Kawamoto A, Kinoshita M,
Takano H, Horii M,
Sadamoto K, Yokoyama A,
Asahara T

Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe
Department of Clinical Research Promotion

Katayama M, Kuroda A

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Cardiovascular Surgery

Handa N, Okada Y

Department of Cardiology Kinoshita M, Kihara Y,
Morioka S

Translational Research Informatics Center, Kobe

Yamanaka T, Onodera R,
Fukushima M

Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe Clinical Laboratory

Baba R, Kaneko Y

Kobe City Medical Center General Hospital Department of Plastic Surgery

Tsukie T

Department of Ophthalmology Kurimoto Y

Tokai University School of Medicine, Isehara Department of Regenerative Medicine Science

Asahara T

(Stem Cells, 27(11), 2857 – 2864, 2009)

VI. 8 耳および乳様突起の疾患

VI. 8. 1 難聴の聴覚機能と脳のイメージング

中央市民 耳鼻咽喉科 内藤 泰
先端医療センター 分子イメージング研究グループ
内藤 泰
(愛媛ヒアリング研究, 15, 1-26, 2009. 4)

VI. 8. 2 Cortical activation during optokinetic stimulation—an fMRI study

Kobe City Medical Center General Hospital Dept. of Otolaryngology
Kikuchi M, Naito Y
Institute of Biomedical Reserch and Innovation Dept. of Molecular Imaging
Senda M
(Acta Oto-Laryngologica, 129, 440-443, 2009. 4)

VI. 8. 3 前庭情報の皮質処理機構(テキスト)

中央市民 耳鼻咽喉科 内藤 泰
(第26回日本めまい平衡医学会医師講習会 2009年6月11~13日 信州大学, 72-77, 2009. 6)

VI. 8. 4 電極のトラブルに対して人工内耳入れ換え手術を行った2例

中央市民 耳鼻咽喉科 堀 真也・内藤 泰
篠原 尚吾・藤原 敬三
菊地 正弘・十名 洋介
山崎 博司
(耳鼻臨床, 102, 825-829, 2009. 10)

VI. 8. 5 難聴と人工内耳について

中央市民 耳鼻咽喉科 内藤 泰
(神戸市立医療センター中央市民病院 しおかぜ通信, 13, 1-1, 2009. 11)

VI. 8. 6 きっともっとずっと聴こう「聴く脳」大脳生理学から見た聴能

中央市民 耳鼻咽喉科 内藤 泰
(声援隊 特別勉強会 きっともっとずっと聴こう 聴覚障害児教育を考える講演とワークショップ 報告集+講演集, 39-45, 2010. 2)

VI. 8. 7 悪性外耳道炎.

中央市民 耳鼻咽喉科 山崎 博司・内藤 泰
篠原 尚吾・菊地 正弘
(JOHNS, 26, 298-300, 2010. 3)

VI. 8. 8 耳下腺内嚢胞性疾患の検討

中央市民 耳鼻咽喉科 菊地 正弘
臨床病理科 今井 幸弘
(頭頸部癌 (1349-5747) 35(2), Page156, 2009. 5)

VI. 8. 9 Prognosis of sudden low-tone loss other than acute low-tone sensorineural hearing loss

University of Toyama Department of Otolaryngology, Head & Neck Surgery,
Fushiki H, Junicho M,
Watanabe Y
Kobe City Medical Center General Hospital Department of Otolaryngology
Kanazawa Y
(Acta Otol. 2009 Nov 17. [Epub ahead of print], 2009. 11)

VI. 8. 10 電極のトラブルに対して人工内耳入れ替え手術を行った2例

静岡県立総合病院 頭頸部・耳鼻咽喉科 堀 真也
中央市民 耳鼻咽喉科 内藤 泰・篠原 尚吾
藤原 敬三・菊地 正弘
十名 洋介・山崎 博司
(耳鼻臨床, 102, 825-829, 2009. 12)

VI. 9 循環器系の疾患

VI. 9. 1

中央市民 循環器内科 北井 豪

島根大学医学部 内科学講座第四

田邊 一明

(DVDで学ぶエコー図診断～心筋症, 心筋・心膜疾
患編. 2008. 4. 25)

VI. 9. 2 Coronary risk factor profile and prognostic factors for young Japanese patients undergoing coronary revascularization.

中央市民 循環器内科 Furukawa Y, Ehara N,
Kita T

京都大学附属病院 他 CREDO-Kyoto Investigators

Taniguchi R, Haruna Y,

Ozasa N, Saito N,

Doi T, Hoshino K,

Tamura T, Shizuta S,

Abe M, Toma M,

Morimoto T, Teramukai S,

Fukushima M, Kimura T

(Circ J., 73(8), 1459-1465, 2009. 8)

VI. 9. 3 Clinical outcomes of medical therapy and timely operation in initially diagnosed type a aortic intramural hematoma : a 20-year experience.

中央市民 循環器内科 Kitai T, Kaji S,

Yamamuro A, Tani T,

Tamita K, Kinoshita M,

Ehara N, Kobori A

Furukawa Y

心臓血管外科 Nasu M, Okada Y

(Circ., 115(11 Suppl) S292-S298, 2009. 11)

VI. 9. 4 Fulminant fatal cardiotoxicity following cyclophosphamide therapy.

中央市民 循環器内科 Katayama M, Morioka S,

Furukawa Y

臨床病理科 他 Imai Y, Kurata M

先端医療センター病院 細胞治療科 Hashimoto H, Nagai K,

西宮渡辺心臓血管センター 循環器内科 Tamita K

(J Cardiol., 54(2), 330-334, 2009. 10. 15)

VI. 9. 5 The efficacy of radiation monotherapy for Tolosa-Hunt syndrome.

中央市民 循環器内科 Furukawa Y

福井県立病院 呼吸器内科 Yamaguchi W, Miyaji H

金沢大学 医学系研究科 リウマチ膠原病内科 他

Ito K, Tamamura H,

Yamada M

日本医科大学 Hamada T

(J Neurol., 257(2), 288-290, 2010. 2)

VI. 9. 6 Therapeutic Strategy of Acute Aortic Intramural Hematoma

中央市民 循環器内科 Kaji S

(Advances in Understanding Aortic Diseases, Jan-09,
155-162, 2009. 1)

VI. 9. 7 ペースメーカー・リード感染。

中央市民 循環器内科 安 珍守

島根大学医学部医学科 内科学第四 田邊 一明

(月刊心エコー, 10(4), 396-401, 2009. 4)

VI. 9. 8 糖尿病における心筋虚血の評価

中央市民 循環器内科 加地修一郎

(Diabetes Frontier, 20(6), 643-646, 2009. 6)

VI. 9. 9 左房の大きさは何故重要か

中央市民 循環器内科 谷 知子

(月刊心エコー, 10(9), 820-824, 2009. 9)

VI. 9. 10 アミオダロン静注の有用性と内服薬への切り替え効果。

中央市民 循環器内科 小堀 敦志・舟越 俊介

木村 紀遵・金 基泰

安 珍守・山根 崇史

北井 豪・片山美奈子

江原 夏彦・民田 浩一

木下 慎・加地修一郎

山室 淳・谷 知子

古川 裕

(PROGRESS IN MEDICINE, 29, 646-651, 2009. 3)

VI. 9. 11 植込み型除細動器 (ICD) 適応患者における不適切作動に対する薬剤の影響に関する検討。

中央市民 循環器内科 安 珍守・小堀 敦志
谷 知子・山室 淳
加地修一郎・民田 浩一
木下 慎・江原 夏彦
北井 豪・北 徹
古川 裕

(Journal of Arrhythmia, 25, 290-290, 2009)

VI. 9. 12 Popliteal venous aneurysm より肺塞栓症を発症した1例。

中央市民 循環器内科 木村 紀遵・舟越 俊介
金 基泰・安 珍守
山根 崇史・北井 豪
小堀 敦志・江原 夏彦
民田 浩一・木下 慎
加地修一郎・山室 淳
谷 知子・古川 裕
盛岡 茂文
心臓血管外科 井内 幹人・那須 通寛
岡田 行功

(Therapeutic Research, 30(5), 629-629, 2009. 5)

VI. 9. 13 エビデンスからみるこれからの降圧治療 ~JSH2009改訂をふまえて~

中央市民 循環器内科 古川 裕・黒田 祐一
大山 敦嗣・石田 達郎

(血圧, 16(13), 177-182, 2009)

VI. 9. 14 II心疾患1. CREDO-Kyoto Registry: Better survival with statin administration after revascularization therapy in Japanese patients with coronary artery disease.

中央市民 循環器内科 古川 裕
島根大学医学部医学科 内科学第四 田邊 一明
(血栓と循環, 17(2), 131-133, 2009. 6)

VI. 9. 15 冠血行再建術後患者の予後改善のための薬物治療—CREDO-Kyoto研究の知見から

中央市民 循環器内科 古川 裕
(MEDICAMENT NEWS, 1980, 18-19, 2009. 5)

VI. 9. 16 冠血行再建術後患者における薬物治療と予後との関係—CREDO-Kyoto研究より—

中央市民 循環器内科 古川 裕
島根大学医学部医学科 内科学第四 田邊 一明
(Therapeutic Research, 30(1), 39-46, 2009. 1)

VI. 9. 17 肺静脈隔離術における20極リング状カテーテルの有用性

中央市民 循環器内科 小堀 敦志・安 珍守
金 基泰・古川 裕
横須賀共済病院 循環器内科 桑原 大志・高橋 淳
筑波大学 人間総合科学研究科 循環器内科 青沼 和隆

(Journal of Arrhythmia, 25, 449-449, 2009)

VI. 9. 18 第6章 心機能の評価 1. 右心カテーテル検査の意義 (Swan-Ganzを中心に)

中央市民 循環器内科 古川 裕
(確実に身につく 心臓カテーテル検査の基本とコツ, 中川義久編集 羊土社, 東京, 246-250, 2009. 6)

VI. 9. 19 ACTIVATE (ACAT Intravascular Atherosclerosis Treatment Evaluation)

中央市民 循環器内科 古川 裕・北 徹
(「DATA UPDATE 循環系 第4版」, 先端医学社, 東京, 154-155, 2009. 5)

VI. 9. 20 ACTIVATE (ACAT Intravascular Atherosclerosis Treatment Evaluation)

中央市民 循環器内科 古川 裕・北 徹
(「DATA UPDATE 循環系 第4版」, 先端医学社, 東京, 174-175, 2009. 5)

VI. 9. 21 TiNOX (Titanium Nitride Oxide)

中央市民 循環器内科 古川 裕・北 徹
(「DATA UPDATE 循環系 第4版」, 先端医学社, 東京, 242-243, 2009. 5)

VI. 9. 22 冠動脈疾患の予後改善のための薬物治療—CREDO-Kyoto研究の知見から— PCI後に硝酸薬は必要か

中央市民 循環器内科 古川 裕
(Therapeutic Research, 30(8), 1281-1288, 2009. 8)

- VI. 9. 23 日本人における初回冠血行再建術後患者の予後：CREDO-Kyoto 研究が示すもの。
中央市民 循環器内科 古川 裕・北 徹
京都大学附属病院 循環器内科 木村 剛
(循環器専門医, 特集：第73回日本循環器学会学術集会 5. 冠動脈疾患の治療戦略—PCIかCABGかあるいは薬物治療か, 17(2), 251-258, 2009. 9. 25)
- VI. 9. 24 基礎から学ぶ！循環器疾患への薬物療法の要点
中央市民 循環器内科 古川 裕
(呼吸器・循環器ケア, 12・1月号 虚血性心疾患に) 対する薬物療法 基礎編, 2009
- VI. 9. 25 基礎から学ぶ！循環器疾患への薬物療法の要点
中央市民 循環器内科 古川 裕
(呼吸器・循環器ケア, 2・3月号 虚血性心疾患に) 対する薬物療法 実践編, 2010. 2・3
- VI. 9. 26 編集
中央市民 循環器内科 加地修一郎
(心CT4「MDCTで心臓を診る」, 2010, 2)
- VI. 9. 27 急性心筋梗塞による心肺停止にて来院し、縦隔出血と冠動脈損傷を合併した1剖検例
中央市民 循環器内科 安 珍守
臨床病理科 今井 幸弘
(日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988) 16巻Suppl., Page277, 2009. 1)
- VI. 9. 28 Successful treatment of POEMS syndrome complicated by severe congestive heart failure with thalidomide.
中央市民 免疫血液内科 Inoue D, Kato A, Tabata S, Takiuchi Y, Kimura T, Shimoji S, Mori M, Nagai Y, Togami K, Matsushita A, Nagai K, Maruoka H
循環器内科 Kitai T
臨床病理科 Imai Y
(Intern Med, 49(5), 461-466, 2010)
- VI. 9. 29 ≪小児科診療に強くなる！知ってほしい診断のポイントとコツ≫
心臓疾患—知っておくべき重大徴候
中央市民 小児科 山川 勝
(内科, 104(3), 543-550, 2009. 9)
- VI. 9. 30 当院における腹部内臓動脈瘤破裂9例の検討
中央市民 外科 高橋 英雄
臨床病理科 今井 幸弘
(日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843), 70(8), 2303-2308, 2009. 8)
- VI. 9. 31 感染性心臓・大動脈疾患の治療 2. 感染性心内膜炎による僧帽弁逆流に対する外科治療
中央市民 心臓血管外科 岡田 行功
(日本外科学会誌, 110(1), 3-6, 2009. 1)
- VI. 9. 32 心房細動、脳梗塞、重症三尖弁逆流症を新たに発症した僧帽弁形成術後患者に、再開心術でMaze手術を施行した1例
中央市民 心臓血管外科 庄村 遊・岡田 行功
那須 通寛・藤原 洋
小森 茂・井内 幹人
小津 泰久・橋本 孝司
(循環器科, 65(4), 449-451, 2009. 4)
- VI. 9. 33 急性期感染性心内膜炎の手術の適応
中央市民 心臓血管外科 庄村 遊・岡田 行功
(呼と循, 57(6), 635-640, 2009. 6)
- VI. 9. 34 冠動脈再手術：アプローチとグラフトの選択
中央市民 心臓血管外科 那須 通寛
(冠疾患誌 J Jpa Coron Assoc, 15, 67-70, 2009. 4)
- VI. 9. 35 金属アレルギー患者に僧帽弁人工置換術および人工弁輪による三尖弁弁輪縫縮術を施行した1例
中央市民 心臓血管外科 庄村 遊・岡田 行功
那須 通寛・藤原 洋
小森 茂・井内 幹人
小津 泰久・橋本 孝司
(日本心臓血管外科学会雑誌, 38(6), 385-388, 2009. 11)

VI. 9. 36 大動脈縮窄症下行置換術後吻合部
仮性瘤の1手術例

中央市民 心臓血管外科 小津 泰久・那須 通寛
井内 幹人・小森 茂
庄村 遊・藤原 洋
半田 宣弘・岡田 行功

(日本心臓血管外科学会雑誌, 38(5), 322, 2009)

VI. 9. 37 虚血性僧帽弁逆流: 外科治療の適
応は?

中央市民 心臓血管外科 那須 通寛・岡田 行功
(J Cardiol Jpn Ed, 4(2), 158-162, 2009. 10)

VI. 9. 38 [感染性心内膜炎のすべて] 感染
性心内膜炎の治療、外科手術の実
際

中央市民 心臓血管外科 岡田 行功
(心エコー, 10(4), 390-394, 2009. 4)

VI. 9. 39 [弁膜疾患患者の手術適応を識る
2008年 AHA 改訂を受けて] 僧
帽弁逆流に対して弁形成術は積極
的に行われるべきである

中央市民 心臓血管外科 岡田 行功
(Heart View, 13(7), 767-771, 2009. 7)

VI. 9. 40 植込み型除細動器 (ICD) 植込み
時における心内T波センシング評
価の試み

中央市民 臨床工学室 石井 利英・吉田 哲也
吉川真由美・久保 敦子
井上 和久・筏雄 亮
坂地 一朗

循環器内科 小堀 敦志・古川 裕

(Journal of Arrhythmia, 25, 328-328. 2009)

VI. 9. 41 深部静脈血栓症をきたした孤立性
腸骨動脈瘤の1例

西市民 外科 古川 公之・竹尾 正彦
山本 満雄

(日本臨床外科学会雑誌, 71(1), 239-242, 2010. 1)

VI. 9. 42 神戸市中学生から見える心臓検診
の現状について - 中学校心臓検
診からのアプローチ -

西神戸医療センター 小児科 深谷 隆
兵庫県予防医学協会 馬場 國蔵
神戸市医師会 伊佐 秀夫・久代 英範
近藤 誠宏・浪方 由美
山崎 亨・山根 洋代
渡辺 美郎

(保健神戸, 59, 5-12, 2010)

VI. 9. 43 Acute myocardial infarction after
Kawasaki disease in an infant:
Treatment with coronary artery
bypass grafting

国立循環器病センター 小児科 Tsuda E, Minami N,
Kobayashi J, Noritake K,
Echigo S

西神戸医療センター 小児科 Fukaya K, Nozaki H
(Pediatr Int, 51(3), 421-424, 2009. 6)

VI. 9. 44 Progranulin Expression in Ad-
vanced Human Atherosclerotic
Plaque.

京都大学附属病院 循環器内科 神経内科 Kojima Y, Ono K,
Takagi Y, Kikuta K,
Nishimura M, Yoshida Y,
Nakashima Y, Matsumae H,
Mikuni N, Kimura T,
Tanaka M.

倉敷中央病院 循環器内科 Inoue K
中央市民 循環器内科 Furukawa Y, Kita T
小倉記念病院 循環器科 Nobuyoshi M

(Atherosclerosis., 206, 102-108, 2009. 9)

VI. 9. 45 Pharmacological cardioversion
preceding left atrial ablation:
bepridil predicts the clinical out-
come following ablation in pa-
tients with persistent atrial fibrilla-
tion.

横須賀共済病院 循環器内科 Miyazaki S, Kuwahara T,
Takahashi Y, Takei A,
Sato A, Isobe M,
Takahashi A

中央市民 循環器内科 Kobori A
(Europace., 11(12), 1620-1623, 2009. 12)

VI. 9. 46 Incidence of and Risk Factors for
Contrast-Induced Nephropathy
after Cardiac Catheterization in
Japanese Patients.

国立循環器センター 心臓集中治療科 Abe M

京都大学附属病院 循環器内科 Kimura T

京都大学大学院医学研究科 医学教育推進センター

Morimoto T

中央市民 循環器内科 Furukawa Y, Kita T

(Circ J., 73, 1518-1522, 2009. 8)

VI. 10 呼吸器系の疾患

VI. 10. 1 内科系患者に発症した静脈血栓塞栓症3例の検討

中央市民 呼吸器内科 瀬尾龍太郎

(Therapeutic Research, 29, 712-715, 2008. 5)

VI. 10. 2 吸入ステロイド薬の止めどきは?

中央市民 呼吸器内科 立川 良

(Q&A でわかるアレルギー疾患, 4, 293-295.)
(2008. 6. 7)

VI. 10. 3 骨髄移植後の閉塞性細気管支炎を合併し非侵襲的陽圧換気が導入された3例の検討

中央市民 呼吸器内科 瀬尾龍太郎

(Therapeutic Research, 29, 1144-1147, 2008. 7)

VI. 10. 4 動脈結紮術と塞栓術後に胸壁から新生血管形成を認めた気管支動脈蔓状血管腫の1剖検例

中央市民 呼吸器内科 村瀬 公彦

臨床病理科 今井 幸弘

(日本呼吸器学会雑誌 (1343-3490), 47(1), 27-31,)
(2009. 1)

VI. 10. 5 肉眼的血性BAL(気管支肺胞洗浄)液回収例の原因と予後の解析

中央市民 呼吸器内科 村瀬 公彦

(厚生労働科学研究 特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスポリン+ステロイド療法ならびにNアセチルシステイン吸入療法に関する臨床研究
平成20年度研究報告書, 146-149, 2009. 3)

VI. 10. 6 吸入ステロイド日本上陸30周年

中央市民 呼吸器内科 石原 享介

(Q&A でわかるアレルギー疾患, 5(1), 94-95.)
(2009. 4)

VI. 10. 7 長時間作用型吸入 β 2刺激薬/吸入ステロイド配合剤。

中央市民 呼吸器内科 石原 享介

(インフォームドコンセントのための図説シリーズ
「喘息」足立満編集, 医薬ジャーナル, 東京, 68-73, 2009. 6)

VI. 10. 8 縦隔進展型肺癌の化学療法後に合併した気管支食道瘻に対して、cyanoacrylateを用いた内視鏡的閉鎖が奏功した1例

中央市民 呼吸器内科 立川 良

(気管支学, 31, 207-212, 2009. 7)

VI. 10. 9 アミオダロンによる薬剤性肺炎を発症し、ステロイド治療中止後に再燃したと考えられた1例

中央市民 呼吸器内科 木田 陽子

(日本胸部臨床, 68, 757-765, 2009. 8)

VI. 10. 10 Comparative study of high-resolution CT findings between autoimmune and secondary pulmonary alveolar proteinosis

Kyorin university hospital Dept. of respiratory medicine

Haruyuki Ishii

Keisuke Tomii

(Chest, 136, 1348-1355, 2009. 11)

VI. 10. 11 在宅ピークフロー測定による喘息状態の客観的評価

中央市民 呼吸器内科 立川 良

(よくわかる気管支喘息-その診療を極める-, 150)
(-157, 2009. 11)

VI. 10. 12 びまん性肺胞出血症例の臨床的検討

中央市民 呼吸器内科 村瀬 公彦・櫻井 綾子

立川 良・竹嶋 好

富井 啓介

(気管支学, 32, 14-21, 2010. 1)

VI. 10. 13 細径上部消化管内視鏡を気管内に挿入し切除に施行した気管発生多形腺腫の1例

中央市民 呼吸器内科 村瀬 公彦・櫻井 綾子

立川 良・竹嶋 好

富井 啓介

(気管支学, 32, 52-56, 2010. 1)

VI. 10. 14 咳喘息

中央市民 呼吸器内科 富井 啓介・石原 享介

(呼吸器疾患最新の治療2010-2012, 297-299, 2010. 2)

VI. 10. 15 特集 腎移植における感染症 ニューモシスチス肺炎

中央市民 呼吸器内科 富井 啓介

(腎移植・血管外科, 21, 109-115, 2009)

- VI. 10. 16 ペメトレキセドによる薬剤性肺炎の2例
中央市民 呼吸器内科 永田 一真
臨床病理科 今井 幸弘
(肺癌 (0386-9628), 50(1), Page93-94, 2010. 2)
- VI. 10. 17 Nursing home-acquired pneumonia 入院症例の検討—高齢者市中肺炎との比較—
西市民 呼吸器内科 谷 鎮礼・富岡 洋海
金田 俊彦・久保田未央
金子 正博・藤井 宏
(日本呼吸器学会雑誌, 47, 355-361, 2009. 5)
- VI. 10. 18 血痰を主訴に受診した22歳女性(気管支拡張症)
西市民 呼吸器内科 富岡 洋海
(NEW 専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 8呼吸器疾患, 永井厚志編集, 日本医事新報社, 東京, 103-110, 2009. 6)
- VI. 10. 19 Antioxidant therapy for idiopathic pulmonary fibrosis. A promising therapeutic prospect.
西市民 呼吸器内科 富岡 洋海
(Sarcoidosis Vasculitis and Diffuse Lung Diseases, 26, 83-84, 2009. 7)
- VI. 10. 20 FDG-PET 検査が局在診断に有用であった間質性肺炎に合併した肺癌の2例
西市民 呼吸器内科 富岡 洋海・奥田 千幸
金田 俊彦・久保田未央
金子 正博・藤井 宏
病理科 勝山 栄治
放射線科 豊島 正実・臼杵 則朗
(厚生労働科学研究 特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスポリン+ステロイド療法ならびにNアセチルシステイン吸入療法に関する臨床研究 平成20年度研究報告書, 101-104, 2009. 3)
- VI. 10. 21 特発性肺線維症の臨床経過、新治療に関する研究
西市民 呼吸器内科 富岡 洋海
(厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスポリン+ステロイド療法ならびにNアセチルシステイン吸入療法に関する臨床研究 平成18年度~20年度総合研究報告書, 102-103, 2009. 3)
- VI. 10. 22 急性呼吸不全で発症したサルコイドーシスの一例
西市民 呼吸器内科 坂口 恵美・富岡 洋海
金田 俊彦・金子 正博
(日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌, 2009年29(1), 55-61, 2009. 10)
- VI. 10. 23 肺炎になった PEG 造設患者さんの治療とケア
西市民 呼吸器内科 金田 俊彦・富岡 洋海
(難病と在宅ケア, 15(9), 51-54, 2009. 12)
- VI. 10. 24 喘息治療の診療現場では、段階的治療法として、ステップアップとステップダウンのどちらが勧められるか？
西市民 呼吸器内科 金子 正博・石原 享介
(EBM アレルギー疾患の治療2010-2011, 中外医学社, 秋山一男、他 編集, 54-59, 2009. 10)
- VI. 10. 25 IV. 重症喘息の薬物療法 1)吸入・経口ステロイド
西市民 呼吸器内科 金子 正博・石原 享介
(アレルギー・免疫, 16(10), 1528-1539, 2009. 10)
- VI. 10. 26 重症 RS ウイルス細気管支炎に対する非侵襲的陽圧換気療法
中央市民 小児科 田村 卓也・宮越 千智
山川 勝・春田 恒和
(日本小児科学会誌, Vol.113, No.11, 1695-1700, 2009, 11)

VI. 11. 消化器系の疾患

VI. 11. 1 膵・胆管合流異常 (先天性胆道拡張症を含む)

中央市民 外科 細谷 亮

(今日の治療指針, 2010年版, 461-462, 2010. 1)

VI. 11. 2 Surgical Therapy for a Solitary Form of Hepatic Epithelioid Hemangioendothelioma : A Long-Term Survival Case

中央市民 外科 Nobu Oshima,
Hiroaki Terajima,
Ryo Hosotani

(Case Rep Gastroenterol 2009, vol.3, 214-221, 2009. 8)

VI. 11. 3 特異な形態を呈した, 骨盤内に達する巨大膵仮性嚢胞の1例

中央市民 外科 大嶋 野歩・和田 道彦
高橋 英雄・田村 亮

(膵臓, 24(5), 603-609, 2009. 10)

VI. 11. 4 結核性腹膜炎治療中に続発し, 粘膜下腫瘍形態を呈した胃結核の1例

中央市民 外科 大嶋 野歩・細谷 亮

(日本臨床外科学会雑誌, 70(5), 1347-1352, 2009. 5)

VI. 11. 5 Gemcitabine を用いた膵癌術後補助化学療法の有用性についての検討: 生存期間延長効果の評価

中央市民 外科 大嶋 野歩・和田 道彦
細谷 亮

浜松労災 外科 梶原 建熙

(日本消化器外科学会雑誌, 42(4), 347-354, 2009. 4)

VI. 11. 6 術後短期間で再発増大を来した肺多形癌大網転移の1例

中央市民 外科 田村 亮・小林 裕之
今井 幸弘・三木 明

(日本消化器外科学会雑誌, 43, 299-305, 2010. 3)

VI. 11. 7 上肢痛に対して星状神経節ブロック療法を開始した際, 併発していた口内炎症状が著明に改善した1症例

中央市民 麻酔科 岡崎 俊・山崎 和夫

(ペインクリニック, 30(10), 1439-1441, 2009. 10)

VI. 11. 8 腹腔内穿破を認め, 膵炎が疑われた膵十二指腸動脈瘤破裂の1例

中央市民 救命救急センター・救急部

水 大介・南 丈也

佐竹 悠良・鈴木 啓之

徳田 剛宏・濱里 彩子

許 智栄・林 卓郎

有吉 孝一・佐藤 慎一

(日本臨床救急医学会雑誌, 12, 495-500, 2009. 10)

VI. 11. 9 腹部大動脈十二指腸瘻の1例

中央市民 救命救急センター・救急部

水 大介・佐竹 悠良

鈴木 啓之・徳田 剛宏

許 智栄・林 卓郎

渥美 生弘・佐藤 慎一

(日本臨床救急医学会雑誌, 12, 501-505, 2009. 10)

VI. 11. 10 旋尾線虫幼虫 typeX による小腸病変を内視鏡で観察しえた1例

西市民 消化器内科 三上 栄・池田 英司

住友 靖彦・山下 幸政

織野 彬雄

糖尿病内科 中村 武寛

(Gastroenterological Endoscopy, 51(6), 1443-1449, 2009. 6)

VI. 11. 11 高齢者の注意すべき消化管運動機能障害

西市民 消化器内科 山下 幸政

(Geriatric Medicine, 47(5), 607-611, 2009. 5)

VI. 11. 12 当院での内視鏡外科手術~内視鏡手術のさらなる発展~

西市民 外科 仲本 嘉彦

(神戸市医師会報, 12N0.588, 32-34, 2009. 12)

VI. 11. 13 IS LAPAROSCOPIC SURGERY APPLICABLE FOR HEPATOCELLULAR CARCINOMA WITH SEVERELY-IMPAIRED HEPATIC FUNCTION?

Kobe City Medical Center West Hospital Department of surgery

Yoshihiko Nakamoto

(Surgical Endoscopy, 24(1), 119-119, 2010. 1)

VI. 11. 14 Incarcerated obturator hernia:
pitfalls in the application of ultra-
sound

西市民 救急総合診療部 小縣 正明

(Crit Ultrasound J, 1, 59-63, 2009. 12)

VI. 12 皮膚および皮下組織の疾患

VI. 12. 1 外陰 Paget 病の肉眼所見および受診と診断の遅れについて

中央市民 皮膚科 星野 達二・須賀 真美
岡田 悠子・宮本 和尚
西村 淳一・高岡 亜妃
今村 裕子・山田 曜子
山田 聡・北 正人
大郷 典子・東田 由香
藤井 秀孝・月江 富男
今井 幸弘

(兵庫県医師会医学雑誌, 52(2), 25-32, 2010)

VI. 12. 2 圧迫用イヤリングと落下防止テープによる耳垂ケロイドの治療

中央市民 皮膚科 小川真希子
三重大学医学部皮膚科学教室 皮膚科
水谷 仁
三重大学医学部皮膚科学教室
磯田 憲一

(臨床皮膚科, 63(7), 524-528, 2009. 6. 1)

VI. 12. 3 われわれの工夫 耳垂部ピアスケロイド圧迫用イヤリングの工夫(解説)

中央市民 皮膚科 小川真希子・大郷 典子
三重大学医学部附属病院 皮膚科
磯田 憲一・水谷 仁

(形成外科, 53(3), 338-341, 2010. 3)

VI. 12. 4 Solar urticaria

西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T
神戸大学医学部 皮膚科 Fukunaga A, Nishigori C
(Urticaria and Angioedema, Edited by Zuberbier T, 73)
-80, 2010. 2

VI. 12. 5 じんま疹

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥
(今日の治療指針、山口徹ほか編, 954-955, 2010. 1)

VI. 12. 6 じんま疹

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥
(薬局で役立つ皮膚科治療薬 FAQ, 大谷道輝ほか編, 64-68, 2010. 3)

VI. 12. 7 New concepts of hive formation in cholinergic urticaria

西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T
神戸大学医学部 皮膚科 Fukunaga A, Nishigori C
(Curr Allergy Asthma R, 9, 273-279, 2009. 7)

VI. 12. 8 白斑・色素失調症

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥
(Derma, 157, 94-98, 2009. 9)

VI. 12. 9 蕁麻疹・アナフィラキシーの原因検索における特異 IgE 抗体検査の意義

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥
(日本皮膚科学会雑誌, 119, 2594-2596, 2009. 12)

VI. 12. 10 薬剤によるアナフィラキシーショック

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥
(臨床研修プラクティス, 6, 12-18, 2009. 11)

VI. 12. 11 Folic acid-induced anaphylaxis showing cross-reactivity with methotrexate. A case report and review of the literature.

県立加古川医療センター 皮膚科 Nishitani N, Adachi A,
Fukumoto T
西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T
(Int J Dermatol, 48, 522-524, 2009. 5)

VI. 12. 12 Impact of the Gly573Ser substitution in TRPV3 on the development of allergic and pruritic dermatitis in mice

塩野義研究所 Yoshioka T, Imura K,
Akasawa M
西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T
(J Invest Dermatol, 129, 714-722, 2009. 3)

VI. 12. 13 Soybean b-conglycinin as the main allergen in a patient with food-dependent exercise-induced anaphylaxis by tofu: Food processing alters pepsin resistance

県立加古川医療センター 皮膚科 Adachi A, Shimizu H,
Sarayama Y
西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T
(Clin Exp Allergy, 39, 167-173, 2009. 1)

VI. 12. 14 Two novel mutations in the ED1 gene in Japanese families with X-linked hypohidrotic ectodermal dysplasia

神戸大学 疫学 Gunadi, Miura K,
Ohta M
西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T
(Pediatrics Res, 65, 453-457, 2009. 4)

VI. 12. 15 Acquired idiopathic generalized
anhidrosis : possible pathogenic
role of mast cells

神戸大学医学部 皮膚科 Fukunaga A, Sato C,
Nishigori C

西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T

(Brit J Dermatol, 160, 1337-1340, 2009. 6)

VI. 12. 16 Thioredoxin suppresses the con-
tact hypersensitivity response by
inhibiting leukocyte recruitment
during elicitation phase

神戸大学医学部 皮膚科 Fukunaga A, Ogura K,
Nishigori C

西神戸医療センター 皮膚科 Horikawa T

(Antioxid Redox Signal, 11, 1227-1235, 2009. 4)

VI. 12. 17 シイタケ皮膚炎

神戸大学医学部 皮膚科 大野健太郎・錦織千佳子

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥

(Visual Dermatology, 8, 956-957, 2009. 9)

VI. 12. 18 小児 DLE

神戸大学医学部 皮膚科 塩見 彩子・佐々木祥人
永井 宏

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥

(皮膚診療, 31, 1189-1192, 2009. 10)

VI. 12. 19 抗 SSA/Ro 抗体陽性者におけるテ
ガフル・ギメラシル・オテラシ
ルカリウム (TS-1) による DLE
型薬疹の 1 例

神戸百年記念病院 皮膚科 米谷さおり

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥

(皮膚臨床, 51, 1259-1262, 2009. 10)

VI. 12. 20 色素沈着に対するN1901A (L-シ
ステイン、ビタミンC配合経口薬)
の臨床効果

神戸大学医学部 皮膚科 船坂 陽子・岡 昌宏
錦織千佳子

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥

(日本美容皮膚科学会雑誌, 19, 358-370, 2009. 12)

VI. 12. 21 急性腎障害に合併した急性汎発性
発疹性膿疱症の 1 例

神戸大学医学部 皮膚科 山本 篤志・後藤 典子
神吉 晴久

西神戸医療センター 皮膚科 堀川 達弥

(皮膚の科学, 8, 546-550, 2009)

VI. 13 筋骨格系および結合組織の疾患

VI. 13. 1 Refractory de novo myeloid sarcoma : a case report and therapeutic strategy based on bone marrow minimal residual disease

Kobe City Medical Center General Hospital

Department of Hematology and Clinical Immunology

Daichi Inoue,
Yuya Nagai,
Takaharu Kimura,
Sonoko Shimoji,
Minako Mori,
Katsuhiro Togami,
Sumie Tabata,
Masayuki Kurata,
Akiko Matsushita,
Kiminari Ito,
Hisako Hashimoto,
Hayato Maruoka,
Eiko Yamashita,
Kenichi Nagai,
Yukihiro Imai,
Hirofumi Shirane,
Takayuki Takahashi

(Int J Hematol, 90, 120-123, 2009. 7)

VI. 13. 2 Successful allogeneic bone marrow transplantation for myelodysplastic syndrome complicated by severe pulmonary alveolar proteinosis

Kobe City Medical Center General Hospital

Department of Hematology and Clinical Immunology

Sumie Tabata,
Sonoko Shimoji,
Kimihiro Murase,
Yoko Takiuchi,
Daichi Inoue,
Takaharu Kimura,
Yuya Nagai,
Minako Mori,
Katsuhiro Togami,
Masayuki Kurata,
Kiminari Ito,
Hisako Hashimoto,
Akiko Matsushita,
Kenichi Nagai,
Takayuki Takahashi

(Int J Hematol, 90, 407-412, 2009. 11)

VI. 13. 3 自家移植併用大量化学療法を施行し、寛解を維持維持している AIDS 関連リンパ腫

中央市民 免疫血液内科 永井 雄也・森 美奈子
井上 大地・木村 隆治
下地 園子・戸上 勝仁
田端 淑恵・松下 章子
永井 謙一・今井 幸弘
高蓋 寿朗・高橋 隆幸

(臨床血液, 50, 1641-1646, 2009. 12)

VI. 13. 4 携帯用インフュージョンポンプを用いたヘパリンの持続皮下注射が奏功した慢性播種性血管内凝固症候群の2例

中央市民 免疫血液内科 戸上 勝仁・永井 雄也
有馬 浩史・下地 園子
木村 隆治・井上 大地
森 美奈子・藤田 晴之
田端 淑恵・倉田 雅之
柳田 宗之・松下 章子
永井 謙一・加地修一郎
高橋 隆幸

(臨床血液, 50, 1700-1705, 2009)

VI. 13. 5 早期診断により多臓器不全から救命し得た劇症型抗リン脂質抗体症候群の一例

中央市民 免疫血液内科 井上 大地・戸上 勝仁
下池 典広・田村 亮
今井 幸弘・木村 隆治
下地 園子・森 美奈子
永井 雄也・田端 淑恵
松下 章子・永井 謙一
高橋 隆幸

(日本臨床免疫学会雑誌, 33, 24-30, 2010. 2)

VI. 13. 6 Successful treatment of POEMS syndrome complicated by severe congestive heart failure with thalidomide

Kobe City Medical Center General Hospital
Department of Hematology and Clinical Immunology

Daichi Inoue,
Akiko Kato,
Sumie Tabata,
Takeshi Kitai,
Yoko Takiuchi,
Takaharu Kimura,
Sonoko Shimoji,
Minako Mori,
Yuya Nagai,
Katsuhiko Togami,
Akiko Matsushita,
Kenichi Nagai,
Hayato Maruoka,
Yukihiro Imai,
Minako Beppu,
Michi Kawamoto,
Takayuki Takahashi

(Intern Med, 49, 461-466, 2010. 2)

VI. 13. 7 Successful allogeneic bone marrow transplantation for Diamond-Blackfan anemia complicated by severe cardiac dysfunction due to transfusion-induced hemochromatosis

Kobe City Medical Center General Hospital
Department of Hematology and Clinical Immunology

Tabata S, Mori M,
Nagai Y, Hashimoto H,
Arima H, Nagano S,
Takiuchi Y, Inoue D,
Kimura T, Shimoji S,
Yanagita S, Ito K,
Matsushita A, Nagai K,
Takahashi T

(Intern Med, 49, 453-456, 2010. 3)

VI. 13. 8 Successful living donor liver transplantation for severe hepatic GVHD histologically resembling autoimmune hepatitis from the same sibling donor

Kobe City Medical Center General Hospital
Department of Hematology and Clinical Immunology

Mori M, Tabata S,
Hashimoto H, Inoue D,
Kimura T, Shimoji S,
Nagai Y, Togami K,
Ito K, Matsushita A,
Nagai K, Uryuhara K,
Kaihara S, Imai Y,
Itoh M, Takahashi T

(Transpl Int, 23, e1-e4, 2010. 3)

VI. 13. 9 生体材料を用いる手術

中央市民 整形外科 川那辺圭一
京大 整形外科 中村 孝志

(最新整形外科学体系 運動器の治療学, 3, 352-363, 2009. 2)

VI. 13. 10 人工股関節手術後の頻回脱臼に対する手術治療 OS NOW Instruction No 9 人工股関節置換術 MIS から再置換まで応用できる手技のコツ

中央市民 整形外科 川那辺圭一

(J Arthroplasty., 22, 2009. 2)

VI. 13. 11 横止め螺子付き大腿骨ステムの使用経験

中央市民 整形外科 川那辺圭一

(東海関節, 1, 1-6, 2009. 12)

VI. 13. 12 下肢打撲後血腫感染の治療経験

西市民 整形外科 藤原 弘之

(日本骨・関節感染症学会雑誌, 22, 48-50, 2009. 1. 31)

VI. 13. 13 大腿骨頭壊死を初発症状とした急性白血病の1例

西市民 整形外科 櫻木 淳史・笠井 隆一
西口 滋・藤原 弘之

(中部整災誌, 1429-1430, 2009. 12)

VI. 13. 14 股関節固定術後の人工股関節置換術の経験

西市民 整形外科 笠井 隆一・西口 滋
藤原 弘之・櫻木 淳史
中央市民 整形外科 川那辺圭一・岩城 公一
(中部整災誌, 52(2), 477-478, 2009. 6)

VI. 13. 15 大腿四頭筋腱皮下断裂の治療経験

西神戸医療センター 整形外科 吉田 圭二・藤原 正利
和田山文一郎・中井一成
原田 豪人・石井 達也
(中部整災誌, 52, 357-358, 2009)

VI. 13. 16 外反母趾の治療成績

西神戸医療センター 整形外科 和田山文一郎・藤原正利
中井 一成・吉田 圭二
原田 豪人・石井 達也
(中部整災誌, 52, 299-300, 2009)

VI. 13. 17 化膿性膝関節炎に対する抗生剤入り持続洗浄療法の実績

西神戸医療センター 整形外科 原田 豪人・藤原 正利
和田山文一郎・中井一成
吉田 圭二
(中部整災誌, 52, 691-692, 2009)

VI. 13. 18 深層伸筋の剥離を最小限とした頸椎椎弓切除術の手術成績

西神戸医療センター 整形外科 和田山文一郎・藤原正利
中井 一成・吉田 圭二
原田 豪人・石井 達也
(中部整災誌, 52, 1261-1262, 2009)

VI. 13. 19 寛骨臼骨折に対する観血的整復固定術の成績不良例

西神戸医療センター 整形外科 藤原 正利・吉田 圭二
原田 豪人
(骨折, 3, 727-730, 2009)

VI. 13. 20 特発性大腿骨頭壊死に対する血管柄付き腸骨移植術の適応と成績

西神戸医療センター 整形外科 藤原正利・和田山文一郎
中井 一成・吉田 圭二
原田 豪人・池田 登
(中部整災誌, 52, 1287-1288, 2009)

VI. 13. 21 足部皮膚欠損に対する皮弁

京都三菱病院 整形外科 山本 博史・岡本 剛
山川 知之
西市民 整形外科 西口 滋
(日本マイクロサージャリー学会誌, 22(2), 186, 2009. 9. 10)

VI. 13. 22 人工関節の感染の診断と治療

京大 整形外科 川那辺圭一
(整形外科, 80(8), 835-843, 2009. 7)

VI. 13. 23 A new cementless total hip arthroplasty with bioactive titanium porous-coating by alkaline and heat treatment : average 4.8 years results.

京大 整形外科 川那辺圭一
(J Biomed Mater Res B Appl Biomater, Jul, 90(1), 476-481, 2009. 7)

VI. 13. 24 Clinical Results of the Wear Performance of Cross-Linked Polyethylene in Total Hip Arthroplasty Prospective Randomized Trial.

京大 整形外科 伊勢健太郎
中央市民 整形外科 川那辺圭一
(J Arthroplasty, Dec, 24(8), 1216-1220, 2009. 12)

VI. 13. 25 Long-Term Results of Cemented Total Hip Arthroplasty for Dysplasia, With Structural Autograft Fixed With Poly-L-Lactic Acid Screws.

京大 整形外科 後藤 公志
中央市民 整形外科 川那辺圭一
(J Arthroplasty, Dec, 24(8), 1146-1151, 2009. 12)

VI. 13. 26 Computed Tomography-Based Navigation to Determine the Femoral Neck Osteotomy and Location of the Acetabular Socket of an Arthrodesed Hip.

京大 整形外科 秋山 治彦
中央市民 整形外科 川那辺圭一
(J Arthroplasty, Dec, 24(8), 1292-1232, 2009. 12)

VI. 13. 27 Bonding ability evaluation of bone cement on the cortical surface of rabbit's tibia.

京大 整形外科 後藤 公志

中央市民 整形外科 川那辺圭一

(J Mater Sci Mater Med, Jan, 21(1), 139-146, 2010. 1)

VI. 14 腎・尿路・生殖器系の疾患

VI. 14. 1 慢性腎不全と多尿

中央市民 腎臓内科 吉本 明弘・戸田 尚宏
植田 浩司・田路 佳範
鈴木 隆夫

(排尿障害プラクティス, 17, 113-118, 2009. 6)

VI. 14. 2 急性腎傷害 (AKI) の保存的診療: 造影剤腎症

中央市民 腎臓内科 笠原 正登・植田 浩司
向山 政志

(Intensivist, 第3号, 543-550, 2009. 7)

VI. 14. 3 当科の卵巣粘液性腺癌の治療成績 ーリンパ節郭清の適応についての 考察

中央市民 産婦人科 北 正人・大竹 紀子
北村 幸子・須賀 真美
岡田 悠子・宮本 和尚
西村 淳一・高岡 亜妃
今村 裕子・山田 曜子
山田 聡・星野 達二

(産婦の進歩, 62, 20-22, 2010. 2. 1)

VI. 14. 4 腹腔鏡下準広汎子宮全摘出術手技 の工夫 開腹術からのスムーズな 移行を目指して

中央市民 産婦人科 北 正人

(産婦人科治療, 100, 288-291, 2010. 3. 1)

VI. 14. 5 外陰 Paget 病の肉眼所見および受 診と診断の遅れについて

中央市民 産婦人科 星野 達二・須賀 真美
岡田 悠子・宮本 和尚
西村 淳一・高岡 亜妃
今村 裕子・山田 曜子
山田 聡・北 正人
大郷 典子・東田 由香
藤井 秀孝・月江 富男

臨床病理科 今井 幸弘

(兵庫県医師会医学雑誌, 52(2), 25-32, 2010. 3. 31)

VI. 14. 6 特集1: RPLND (精巣腫瘍・尿管 腫瘍) 腎盂尿管癌における腹腔鏡 下リンパ節郭清術

中央市民 泌尿器科 川喜田睦司

(Jpn J Endourol ESWL, 22(1), 13-16, 2009. 4)

VI. 14. 7 腹腔鏡下前立腺全摘除術: 前立腺 への到達法: 各到達法の比較。

中央市民 泌尿器科 川喜田睦司

(新 Urologic Surgery シリーズNo.1 前立腺癌の手術,)
101-112, 2009. 4

VI. 14. 8 腹腔鏡下前立腺全摘除術: 前立腺 の剥離: 逆行性手術。

中央市民 泌尿器科 川喜田睦司

(新 Urologic Surgery シリーズNo.1 前立腺癌の手術,)
135-140, 2009. 4

VI. 14. 9 特集: 精巣腫瘍の診断と治療 Update。精巣腫瘍の横隔膜脚後部 リンパ節転移に対する外科的ア プローチ。

中央市民 泌尿器科 川喜田睦司

(Urology View, 7(3), 54-89, 2009. 5)

VI. 14. 10 クリニカルパスを用いた前立腺全 摘除術周術期管理標準化の多施設 共同研究

国立長寿医療センター 泌尿器科 野尻 佳克

中央市民 泌尿器科 川喜田睦司

天理よろづ相談所病院ほか 泌尿器科 奥村 和弘・津島 知靖

長井 辰哉・上平 修

斉藤 史郎・寺井 章人

副島 秀久・岡村 菊夫

(日泌尿会誌, 100(5), 563-569, 2009. 7)

VI. 14. 11 Spontaneous rupture of benign ovarian cystic teratoma in a premenarchal girl

Nishi-Kobe Medical Center Department of Pediatrics

Iwata A, Matsubara K,

Fukaya T

Department of Obstetrics and Gynecology

Umemoto Y

Department of Pathology Hashimoto K

(J Pediatr Adolesc Gynecol, 22(5), e121-e123, 2009. 10)

VI. 15 妊娠, 分娩および産褥

VI. 15. 1 妊娠糖尿病を合併した高度肥満妊婦の誘発分娩の1例

中央市民 産婦人科 山田 曜子・須賀 真美
坂野 彰・岡田 悠子
高岡 亜妃・今村 裕子
山田 聡・星野 達二
北 正人

(産婦人科の進歩, 61, 123-124, 2009. 5. 1)

VI. 15. 2 骨盤位分娩の取り扱い方針とインフォームド・コンセント

中央市民 産婦人科 北 正人・須賀 真美
坂野 彰・岡田 悠子
宮本 和尚・西村 淳一
高岡 亜妃・今村 裕子
山田 曜子・山田 聡
星野 達二

(温知会々報, 21, 51-57, 2009. 9. 1)

VI. 15. 3 Successful pregnancy outcome in a case of heterotopic intrauterine and cervical pregnancy and a literature review

中央市民 産婦人科 Tatsuji Hoshino
臨床病理科 今井 幸弘

(Journal of Obstetrics and Gynaecology Research)
Volume 35, Issue 6, 1115-1120, 2009. 12

VI. 16 周産期に発生した病態

VI. 16. 1 Successful pregnancy outcome in a case of heterotopic intrauterine and cervical pregnancy and a literature review

中央市民 産婦人科 Tatsuji Hoshino,
Masato Kita,
Shoji Kokeguchi,
Masahide Shiotani,

臨床病理科 Yukihiro Imai

(Issue Journal of Obstetrics and Gynaecology Research)
(Journal of Obstetrics and Gynaecology Research,)
35(6), 1115-1120, 2009. 12. 1

VI. 16. 2 新生児搬送を必要とした早発型B 群溶連菌感染症症例 —臨床的特 徴と搬送の問題点の検討

名古屋市立大学 看護学部 脇本 寛子
西神戸医療センター 小児科 松原 康策・由良 和夫
他

(日本周産期・新生児医学学会雑誌, 45(4), 1398 -)
1403, 2009. 12

VI. 20 放射線および核医学

VI. 20. 1 移植のための肝血管解剖

中央市民 画像診断・放射線治療科 伊藤 亨

(日獨医報, 54(3,4), 125-134, 2009. 12)

VI. 20. 2 20インチフラットパネル搭載血管 撮影装置『Allura Xper 20/10・ 20/20』の使用経験

中央市民 放射線技術部 岸田 絵美・中村 大
放射線技術部主査 中屋 純

(映像情報 Medical 2, 2010 vol.42.No2, 182-187,)
2010. 2)

VI. 20. 3 肉腫様胆管細胞癌の1例

西市民 放射線科 臼杵 則朗・豊島 正実
臨床病理 勝山 栄治

(腹部画像診断アトラス, XIV (第14巻), 96-97,)
2009. 6)

VI. 20. 4 進行頭頸部癌の導入化学療法効果 予測における F-18 FMISO-PET の初期検討

先端医療振興財団先端医療センター分子イメージング研究グループ
山根登茂彦・千田 道雄

中央市民 耳鼻咽喉科 篠原 尚吾・菊地 正弘

(日本医学放射線学会学術集会抄録集68回,)
PageS258, 2009. 2)

VI. 21 歯科

VI. 21. 1 イントロダクション

中央市民 歯科 竹信 俊彦

(EHR 実践マニュアルその成功戦略と事例研究., 1)
-3, 2009. 2

VI. 21. 2 第4章：アセスメントプロセス

中央市民 歯科 竹信 俊彦

(EHR 実践マニュアルその成功戦略と事例研究., 32)
-40, 2009. 2

VI. 21. 3 悪性腫瘍を疑った放線菌症による 上顎骨骨髓炎の1例

中央市民 歯科 藤井 智子・谷池 直樹
竹信 俊彦

臨床病理科 宇佐美 悠

西市民 歯科・口腔外科 長野 紀也

(日本口腔科学会雑誌, 58(2), 64-68, 2009. 3)

VI. 21. 4 内視鏡支援下での顎関節突起骨折 に対する観血的整復固定術の臨床 的検討

中央市民 歯科 谷池 直樹・竹信 俊彦

高橋 淳・上原 京憲

朴 成泰・藤井 智子

西田 哲也・長野 紀也

田中 義弘

彦根市立病院 歯科・口腔外科 山田 剛也

(日本口腔外科学会雑誌, 55(9), 440-447, 2009. 9)

VI. 21. 5 インプラント診療に必要な内科的 知識と投薬.

中央市民 歯科 竹信 俊彦

(日本口腔インプラント学会認定取得のための併用型)
100時間コース, 大阪, 2009. 6. 6

VI. 21. 6 外科の基本手技

中央市民 歯科 竹信 俊彦

(日本口腔インプラント学会認定取得のための併用型)
100時間コース, 大阪, 2009. 6. 6

VI. 21. 7 Planning and Sequencing in Orthognathic Surgery

中央市民 歯科 Toshihiko Takenobu

(AO CMF Course TOKYO 2009., 東京, 2009. 7. 7-10)

VI. 21. 8 Distraction Osteogenesis, Basic principles and Clinical Applications

中央市民 歯科 Toshihiko Takenobu

(AO CMF Course TOKYO 2009., 東京, 2009. 7. 7-10)

VI. 21. 9 Mandibular Reconstruction, Distraction Bone Transportation

中央市民 歯科 Toshihiko Takenobu

(AO CMF Course TOKYO 2009., 東京, 2009. 7. 7-10)

VI. 21. 10 顎関節突起骨折の内視鏡支援手術

中央市民 歯科 竹信 俊彦

(第54回日本口腔外科学会総会サテライトセミナー第
6回口腔疾患内視鏡治療研究会, 札幌, 2009. 10. 9)

VI. 21. 11 Endoscopically assisted surgery for subcondylar fracture in Kobe experience.

中央市民 歯科 竹信 俊彦

(第54回日本口腔外科学会総会イブニングセミナー
あらためて下顎骨関節突起骨折治療を考える-手術
アプローチの検討-, 札幌, 2009. 10. 9)

VI. 21. 12 Jaw defects,-functional and esthetic aspect-

中央市民 歯科 Takenobu T

(AOCMF Focused Seminar Tokyo -Bone Transplantation)
in Reconstruction of Jaws, 東京, 2010. 2. 13-14

VI. 21. 13 Mandibular reconstruction by distraction Osteogenesis

中央市民 歯科 Takenobu T

(AOCMF Focused Seminar Tokyo -Bone Transplantation)
in Reconstruction of Jaws, 東京, 2010. 2. 13-14

VI. 21. 14 当科における外科矯正 IVRO

中央市民 歯科 竹信 俊彦

(矯若会研修会2010, 大阪, 2010. 2. 21)

VI. 21. 15 Surgical approaches to the mandible

中央市民 歯科 Takenobu T

(AOCMF Course - Principles in Cranio Maxillofacial)
Fracture Management, Manila, Philippine, 2010. 3.
1-3

VI. 21. 16 Overview & operative treatment of
Condylar & subcondylar fractures

中央市民 歯科 Takenobu T

(AOCMF Course - Principles in Cranio Maxillofacial
Fracture Management, Manila, Philippine, 2010. 3.
1-3)

VI. 21. 17 Bioresorbable devices in CMF
surgery

中央市民 歯科 Takenobu T

(AOCMF Course - Principles in Cranio Maxillofacial
Fracture Management, Manila, Philippine, 2010. 3.
1-3)

VI. 21. 18 Correction of dentofacial
deformities

中央市民 歯科 Takenobu T

(AOCMF Course - Principles in Cranio Maxillofacial
Fracture Management, Manila, Philippine, 2010. 3.
1-3)

VI. 21. 19 Fixation of transverse fracture
of Mandibular angle with 2.0
miniplate

中央市民 歯科 Takenobu T

(AOCMF Course - Principles in Cranio Maxillofacial
Fracture Management, Manila, Philippine, 2010. 3.
1-3)

VI. 21. 20 顎関節突起骨折における内視鏡補
助下での観血的整復固定術につ
いての臨床的検討

中央市民 歯科 谷池 直樹・竹信 俊彦
田中 義弘

(第63回日本口腔科学会総会, 浜松, 2009. 4. 17)

VI. 21. 21 下顎智歯部に発生した嚢胞を伴う
複雑性歯牙種の1例

中央市民 歯科 足立 淳・竹信 俊彦
上原 京憲・朴 成泰
藤井 智子・谷池 直樹
西田 哲也・河合 峰雄
田中 義弘

臨床病理科 宇佐美 悠

(第40回日本口腔外科学会近畿地方会, 伊丹市,
2009. 6. 27)

VI. 21. 22 われわれの顎関節突起骨折に対す
る治療戦略—内視鏡支援下での観
血的整復固定術—

中央市民 歯科 谷池 直樹・竹信 俊彦
上原 京憲・朴 成泰
藤井 智子・西田 哲也
田中 義弘

彦根市立病院 歯科・口腔外科 山田 剛也

西市民 歯科・口腔外科 長野 紀也

(第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市,
2009. 10. 9-11)

VI. 21. 23 観血的治療を要した中顔面骨折の
臨床的統計—併発外傷を中心に—

中央市民 歯科 谷池 直樹・竹信 俊彦
上原 京憲・朴 成泰
藤井 智子・西田 哲也
田中 義弘

西市民 歯科・口腔外科 長野 紀也

(第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市,
2009. 10. 9-11)

VI. 21. 24 当科におけるビスフォスフォネー
ト製剤による顎骨壊死の治療につ
いて

中央市民 歯科 藤井 智子・田中 義弘
上原 京憲・朴 成泰
谷池 直樹・西田 哲也
竹信 俊彦・河合 峰雄

西市民 歯科・口腔外科 長野 紀也

(第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市,
2009. 10. 9-11)

VI. 21. 25 当科における唾石症の検討

中央市民 歯科 上原 京憲・竹信 俊彦
朴 成泰・藤井 智子
谷池 直樹・西田 哲也
河合 峰雄・田中 義弘

西市民 歯科・口腔外科 長野 紀也

(第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市,
2009. 10. 9-11)

VI. 21. 26 下顎前突症例における下顎枝垂直
骨切り術の術後安定性—顎間固定
期間との関係—

中央市民 歯科 藤井 智子・竹信 俊彦
上原 京憲・朴 成泰
谷池 直樹・西田 哲也
河合 峰雄・田中 義弘

(第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市,
2009. 10. 9-11)

VI. 21. 27 頬粘膜に生じた孤在性腺維性腫瘍
の1例

中央市民 歯科 芝辻 豪士・竹信 俊彦
上原 京憲・藤井 智子
谷池 直樹・田中 義弘

(日本口腔科学会近畿地方会, 奈良, 2009. 11. 14)

VI. 21. 28 当科における顎口腔領域悪性腫瘍
症例の臨床統計的比較検討

中央市民 歯科 上原 京憲・田中 義弘
内藤 俊幸・朴 成泰
藤井 智子・谷池 直樹
竹信 俊彦・長野 紀也
大西 正信

(第28回日本口腔腫瘍学会総会, 東京, 2010. 1. 28)
(-29)

VI. 21. 29 上顎骨骨肉腫に対する炭素イオン
線治療後の対応に難渋した一症例

中央市民 歯科 内藤 俊幸・田中 義弘
上原 京憲・藤井 智子
谷池 直樹・竹信 俊彦

(第28回日本口腔腫瘍学会総会, 東京, 2010. 1. 28)
(-29)

VI. 21. 30 糖尿病患者における歯周病と動脈
硬化の関係~脈波伝播速度(PWV)
を用いた解析~

中央市民 歯科 岡田 達朗・西田 哲也
谷池 直樹・田中 義弘

(第18回日本有病者歯科医療学会総会, 松本市,
2009. 4. 25・26)

VI. 22 薬剤

VI. 22. 1 肺癌手術における予防的抗生剤投与の期間に対する検討

中央市民 呼吸器外科 高橋 豊・寺師 卓哉
柁里 真也・浜川 博司

(日本呼吸器外科学会雑誌, 23, 924-927, 2009, 11)

VI. 22. 2 外来癌化学療法における疑義紹介事例の解析

—併用内服薬を含めた処方監査による有害事象の回避—

中央市民 薬剤部 赤瀬 博文

(医薬品情報学 (Japanese Journal of Drug Informatics),
vol.11 No.3, 163-167, February 2010)

VI. 23 臨床病理・臨床検査

VI. 23. 1 脾腫瘍性病変の2症例

中央市民 臨床検査部 三羽えり子
臨床病理科 今井 幸弘

(超音波医学(1346-1176), 36(3), Page359-360, 2009. 5)

VI. 23. 2 超音波ドプラ法にて動脈血流陰性・門脈血流増加を呈したB型劇症肝炎の1例 Necropsy による門脈域の動脈と門脈の組織学的検討

中央市民 臨床検査部 朽尾 人司
臨床病理科 今井 幸弘

(肝臓 (0451-4203), 50(8), 437-444, 2009. 8)

VI. 23. 3 アルコール性肝障害時に血中 gamma-glutamyl transpeptidase (rGTP) が上昇するメカニズムについての研究(4): ビール摂取直後の肝血流動態の変化

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司・小畑美佐子
箕輪 和士・老田 達雄
松林 秀幸

(医学検査, 58, 217-224, 2009. 2)

VI. 23. 4 肘屈曲側皮静脈からの採血が困難な場合における採血テクニック: バトンリリーススタイル法の有用性について

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司・伊藤 秀臣
五十嵐昭一・小畑美佐子
老田 達雄・松林 秀幸

(医学検査, 59, 12-15, 2010. 1)

VI. 23. 5 当院外来採血室における翼状針を用いた静脈採血法: 標準的手順と17のコツ

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司・老田 達雄
小畑美佐子・松林 秀幸

(兵庫県臨床検査技師会誌, 30, 15-43, 2009. 6)

VI. 23. 6 超音波ドプラ法にて動脈血流陰性・門脈血流増加を呈したB型劇症肝炎の一例 : Necropsy による門脈域の動脈と門脈の組織学的検討

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司
臨床病理科 今井 幸弘・白根 博文
消化器内科 木本 直哉・岡田 明彦
河南 智晴・猪熊 哲朗

(肝臓, 50, 437-444, 2009. 8)

VI. 23. 7 超音波ドプラ法にて動脈血流陰性・門脈血流増加を呈したB型劇症肝炎の1例 Necropsy による門脈域の動脈と門脈の組織学的検討

中央市民 臨床検査部 朽尾 人司
臨床病理科 今井 幸弘

(肝臓 (0451-4203), 50(8), 437-444, 2009. 8)

VI. 23. 8 肘正中皮静脈からの採血における血管検索のテクニック: 前腕内転法の有用性について

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司・伊藤 秀臣
五十嵐昭一・小畑美佐子
老田 達雄・松林 秀幸

(医学検査, 58, 1221-1224, 2009. 11)

VI. 23. 9 アルコール性肝障害時に血中 gamma-glutamyl transpeptidase (rGTP) が上昇するメカニズムについての研究(1): アルコール性肝障害とウイルス性肝障害の肝動脈の末梢血管抵抗 (Resistant Index: RI) の比較

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司・小畑美佐子
箕輪 和士・老田 達雄
松林 秀幸

(医学検査, 58, 201-206, 2009. 11)

VI. 23. 10 アルコール性肝障害時に血中 gamma-glutamyl transpeptidase (rGTP) が上昇するメカニズムについての研究(2): アルコール性肝障害における肝動脈の末梢血管抵抗 (RI) と血清 rGTP との関係

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司・小畑美佐子
箕輪 和士・老田 達雄
松林 秀幸

(医学検査, 58, 207-212, 2009. 11)

VI. 23. 11 アルコール性肝障害時に血中 gamma-glutamyl transpeptidase (rGTP) が上昇するメカニズムについての研究(3): 肝障害陰性例における肝動脈末梢血管抵抗 (RI) と飲酒頻度、及び血清 rGTP 値との関係

中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司・小畑美佐子
箕輪 和士・老田 達雄
松林 秀幸

(医学検査, 58, 213-216, 2009. 11)

- VI. 23. 12 急性骨髄性白血病を背景に特異な
肝血流を呈した劇症肝不全の一例
ドプラ所見と Biopsy による肝
組織像
中央市民 臨床検査技術部 朽尾 人司
臨床病理科 今井 幸弘
(超音波医学 (1346-1176) 37(2), Page203, 2010. 3. 1)
- VI. 23. 13 肝臓 (造影) Sonazoid 造影エコー
にて肝細胞癌と類似した血流動態
を示し、鑑別診断に苦慮した肝結
節の3例
中央市民 消化器内科 和田 将弥
臨床病理科 今井 幸弘
(超音波医学 (1346-1176) 37(2). Page195, 2010. 3. 1)
- VI. 23. 14 新型インフルエンザのイムノクロ
マト検出法の感度・特異度
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(Medical Technology, 38,2, 111-113, 2010. 2)
- VI. 23. 15 喀痰グラム染色で診断出来る感染
症
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(化学療法の領域, 25,4, 454-551, 2009. 4)
- VI. 23. 16 新型インフルエンザの対応と今後
の課題
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(全国自治体病院学会誌, 9月号, 42-46, 2009. 9)
- VI. 23. 17 見直されるグラム染色 試薬・方
法による差異
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(Medical Technology, 9, 922-926, 2009. 9)
- VI. 23. 18 パンデミックを経験した病院から
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(INFECTION CONTROL, 11月号, 31-38, 2009. 11)
- VI. 23. 19 検査室としてのバイオセーフティー
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(日本環境感染学会新型インフルエンザ対策の提言,
電子版, 2009)
- VI. 23. 20 インフルエンザ簡易キットの判定
時の注意事項について
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(神戸市医師会報, 9月号, 46-49, 2009)
- VI. 23. 21 現場からの実践報告 1
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(医学検査, 9月号, 1258-1262, 2009)
- VI. 23. 22 Escherichia coliによる膀胱炎
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(Medical Technology 別冊 新・カラーアトラス 微)
(生物検査, 増刊号, 148-149, 2009. 7)
- VI. 23. 23 Serratia marcescens による腎盂
腎炎
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(Medical Technology 別冊 新・カラーアトラス 微)
(生物検査, 増刊号, 150-151, 2009. 7)
- VI. 23. 24 淋菌性骨盤内炎症性症候群
西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛
(Medical Technology 別冊 新・カラーアトラス 微)
(生物検査, 増刊号, 152-153, 2009. 7)
- VI. 23. 25 腹水細胞診にみられた虫垂杯細胞
カルチノイドの1例
西神戸医療センター 臨床検査技術部 栗田 千絵・毛利 衣子
中元 理絵・瀧本 美香
病理部 橋本 公夫
(日本臨床細胞学会雑誌, 第49(1), 67-68, 2010. 01. 22)

VI. 24 看護

VI. 24. 1 特集 現場に役立つ看護師をいかに確保するか 実習先病院としての看護学生の受け入れ

中央市民 看護部長 中野 悦子

(病院2009年, 68(4), 304-307, 2009. 4)

VI. 27 病院管理（クリニカルパス 含む）

VI. 27. 1 セキュアな通信環境としての VPN の信頼性とは何か

中央市民 外科 宮原 勅治

（新医療, 4月号, 93-95, 2010. 3）

VI. 27. 2 地域医療連携における IT 化のポ イント

中央市民 外科 宮原 勅治

（地域連携 network, 2(6), 25-28, 2010）

VI. 28 その他

VI. 28. 1 《小児科診療に強くなる！知ってほしい診断のポイントとコツ》 心臓疾患—知っておくべき重大徴候

中央市民 小児科 山川 勝
(内科, 104(3), 2009. 9)

VI. 28. 2 セキュアな通信環境としてのVPNの信頼性とは何か

中央市民 外科 宮原 勅治
(新医療, 2010年4月号, 93-95, 2010. 3)

VI. 28. 3 地域医療連携におけるIT化のポイント

中央市民 外科 宮原 勅治
(地域連携 network, vol.2 No.6, 25-28, 2010)

VI. 28. 4 先輩・同僚・後輩から教わった言葉

中央市民 産婦人科 星野 達二
(神戸市産婦人科医会、神産婦医報, 34-37, 2009)

VI. 28. 5 脳血管障害と小字症

中央市民 リハビリテーション科 三宅 裕子
(脳卒中症候学, 849-854, 2010. 3)

VI. 28. 6 非侵襲的陽圧換気(NPPV)療法中のマスク装着部に対する新しい皮膚ケア法の検討

中央市民 10東 森岡香代子・豊山 梨江
山本 光恵・森瀬 澄恵
田中 明子・山本 靖子
(日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 19(1), 77-82, 2009. 6)

VI. 28. 7 嘔気・嘔吐

中央市民 救命救急センター・救急部
許 智栄
(いきなり名医 もう困らない救急・当直, 1, 2009. 4)

VI. 28. 8 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター編 (共同執筆)

中央市民 救命救急センター・救急部
有吉 孝一・黒澤 寛史
佐竹 悠良・佐藤 慎一
鈴木 啓之・田村 卓也
徳田 剛宏・林 卓郎
許 勝栄・許 智栄
水 大介・南 丈也
柳井 真知

(神戸ER型救急マニュアル, (株)メディカ出版, 2009. 7)

VI. 28. 9 Emergency Medicine On Call

中央市民 救命救急センター・救急部
渥美 生弘・有吉 孝一
濱里 彩子・許 智栄
柳井 真知

(箕輪良行・藤谷茂樹監訳、ER救急診療オンコール (丸善), 2009. 7)

VI. 28. 10 特集 新型インフルエンザへの備え 当院における患者受入と対応の実際

西神戸医療センター 管理栄養室 大西 恵子
臨床検査技術部 山本 剛
(臨床栄養, 11月号, 652-659, 2009)